

「暫定版」における注意事項

「生物多様性保全利用指針 OKINAWA」は、令和 3 年度までに「沖縄島編」、「八重山編」、「宮古・久米島編」、「沖縄島周辺諸島及び大東諸島編」の 4 編の作成を予定しており、現在、各編について順次情報収集、調査、解析を進めているところである。このたび一連の作業が完了した宮古・久米島編について、県民の皆さまにいち早くお届けするために【暫定版】を公開する。

暫定公開である理由は、本指針の中核である生物多様性の解析評価手法の特性上、各島毎の解析ではなく、本県全体での解析を行う必要があるためである。また、事業期間中に追加されたデータを加えることで、より解析精度を高めることが想定されている。このような事業デザインのため、今回の宮古・久米島編【暫定版】に掲載された情報は暫定的なものであり、今後沖縄島周辺諸島及び大東諸島編等の情報が加わることで最終版策定まで更新される。

本指針【暫定版】については、上記の事項についてご理解いただき、本県全体の解析が完了し、最終版（令和 3 年度末を予定）が策定されるまでは、引き続き「自然環境の保全に関する指針」（沖縄県 1998～2000）を参照いただきたい。

1. 生物多様性保全利用指針検討委員会名簿（令和3年3月現在）

(50音順)

氏名（敬称略）	所属・役職	備考
久保田 康裕	琉球大学理学部 教授	
当山 昌直	沖縄国際大学南島文化研究所 特別研究員	
藤田 喜久	沖縄県立芸術大学全学教育センター 准教授	
宮城 邦治	沖縄国際大学 名誉教授	委員長
盛口 満	沖縄大学人文学部 教授	

2. 委員会における検討過程

平成28年11月28日	平成28年度第1回検討委員会開催
平成29年3月23日	平成28年度第2回検討委員会開催
平成29年11月22日	平成29年度第1回検討委員会開催
平成30年3月12日	平成29年度第2回検討委員会開催
平成30年7月3日	生物文化に関する第1回WG（ワーキンググループ）開催
平成30年7月19日	解析に関する第1回WG開催
平成30年10月1日	生物文化に関する第2回WG開催
平成30年10月4日	解析に関する第2回WG開催
平成30年12月18日	平成30年度第1回検討委員会開催
平成31年3月12日	平成30年度第2回検討委員会開催
令和元年7月31日	平成31年度第1回検討委員会開催
令和2年3月4日	平成31年度第2回検討委員会開催
令和2年7月28日	令和2年度第1回検討委員会開催
令和3年3月10日	令和2年度第2回検討委員会開催

3. 生物多様性保全利用指針 OKINAWA に関するホームページ

生物多様性保全利用指針の内容については、下記ホームページにて公表している。ホームページ上では、本指針以外にも、本指針の普及を目的として、本県に生息する生物の画像や自然環境に関する映像等を掲載している。

オキナワイキモノラボ <<http://www.biodiversity.okinawa/>>



English

オキナワ イキモノ ラボ
生物多様性おきなわプラットフォーム推進事業の公式サイト

はじめに

生物多様性
保全利用指針
OKINAWA

映像で見る
沖縄の生き物

オキナワ イキモノ ラボへようこそ！
このサイトでは生物多様性の宝庫である
沖縄の自然環境についてご紹介します

TOP

当サイトをご覧いただき誠にありがとうございます。

2021/02/10
「八重山の干潟と海草藻場の貝類展@沖縄県立博物館・美術館」開催期間変更のお知らせです。

2021/01/06
「八重山の干潟と海草藻場の貝類展」の追加開催が決定しました！

2020/11/30
移動企画展「八重山の干潟と海草藻場の貝類展」を開催いたします。

過去のニュース一覧へ

アンケートにご協力下さい！

お問い合わせ ● 生物多様性保全利用指針OKINAWA ● 利用規約（指針データ） ● 利用規約（映像データ）
お問い合わせ
TEL: 098-856-2243
MAIL: info@biodiversity.okinawa

4. 用語集

本指針に関連する用語を以下に解説した。() 内は用語が使われている章を示す。

なお、作成にあたっては、書籍、論文、報告書、官公庁のウェブサイト（沖縄県、環境省、国土地理院等）、環境用語に詳しいウェブサイト（EIC ネット）、各種団体のウェブサイト等を参考にした。これらの情報源は5. 参考文献に掲載した。各説明文末尾の^[数字]は参考文献番号を示す。

あ行

アンブレラ種（第2章-1）

地域の食物連鎖のピラミッドの最高位に位置する消費者のこと。アンブレラ種を保全することで、その生息に必要な他の種も保全することができる。例として、西表島におけるイリオモテヤマネコなど。^[1]

維管束植物（第2章-1）

維管束と呼ばれる通道組織を有する植物の総称。被子植物、裸子植物、シダ植物が含まれ、コケ植物などは含まれない。^[1]

インフォーマント（第2章-2）

研究対象となる社会、文化の一員であり、調査者が知りたい事柄に精通し、概念、言語、世界観、具体的事例などに関して口述で詳細な表現ができる情報提供者のこと。本指針作成にあたっては、生物文化の聞き取り対象として、地域に長年住み、生物の方言や活用法に詳しい年配の方を主なインフォーマントとした。^[2]

インベントリー調査（第2章-1）

インベントリーとは生物学においては、地域に分布する動植物の種の目録や分布図などのこと。このような目録を作成するための調査がインベントリー調査であり、目視や採捕等によって生物の存在を確認し、文献資料と比較して特定の種であることを同定した上で出現種の一覧を作成する。^[1]

エントロピー最大化法（第2章-1）

必要な全ての情報が揃っていない場合に、観測や測定などで値が確定している部分を拘束条件として、全ての情報を統計学的に推定する際の手法のひとつ。すでに得ている制限条件を満たしつつ得ていない情報は最も確率が高いと考えられる推定値を選ぶ。本指針作成にあたっては、生物調査等による生息データから生息域を推定する際に使われている。^[3]

沖縄21世紀ビジョン（第1章）

平成22年に策定された県政の基本構想のこと。県民の参画と協働のもとに、将来（概ね2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにした。自然環境保全に関しては、めざすべき将来像のひとつとして「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島」があり、「沖縄グリーン・イニシアティブ」として自然環境の持続的な利活用の推進が示されている。^[4]

沖縄県環境管理計画（第1章）

沖縄県における環境問題と、それを解決するための総合的な施策が示された計画のこと。平成5年に策定された。本指針の前身である「自然環境の保全に関する指針」は、同計画における自然環境を保全する施策のひとつと位置づけられている。^[5]

沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）（第1章、第2章-4,5）

沖縄県内を対象とした、絶滅のおそれのある動植物種の生育・生息状況等を明らかにした資料のこと。環境省や国際自然保護連合（IUCN）が作成した継続的な調査研究データを参考に、地域性の視点から独自の規準を交えて作成している。1996年に初版、2005～2006年に改訂第2版、2017～2018年に改訂第3版が公表された。第3版では動物991種、植物938種、菌類85種が掲載されており、危機の状況や情報量によって8つのカテゴリーに分類されている。^[6]

か行

海域区分（第1章、第2章-1、第2章-5、第3章）

海域を何らかの目的、条件によって区切ったそれぞれのこと。本指針においては、前指針である「自然環境の保全に関する指針」における海域区分及びサンゴ礁資源情報整備事業（沖縄県環境生活部自然保護課、平成21～23年度）における海域区分を参考に、一部修正を加えたものを環境カルテ（海域）の作成単位とした。サンゴ礁自然情報整備事業における海域区分は、岬、水路、礁原（礁嶺）などの地形が半閉鎖的な系を形成していることに注目し、それらを一つの生態学的な単位として捉えたものであり、陸域の流域に相当する。本指針の海域区分も基本的に同様の考え方に基づいて設定した。^[7]

外来種（第2章-1）

何らかの人の活動によって、本来の生息地域の外にもたらされた生物種のこと。本来生息していた生きもの（在来種）にとって脅威となる場合は侵略的外来種と呼ばれる。本県における侵略的外来種として、ネズミやハブの駆除を目的として導入されたマングース（ファイリマングース）が有名である。一方で、米（イネ）や多くの野菜、家畜なども元をたただせば外来種であり、社会的、文化的に定着している場合も多い。^[8]

河床勾配（第2章-4）

川の流れる方向の川底の傾きのこと。山間部では急になり、平野部では穏やかになる。^[9]

国内希少野生動植物種（第3章）

国内に生息・生育する絶滅危惧種のうち、特に人為的な影響で数が減っており、種の保存法で指定された種のこと。令和3年1月現在、395種が指定されている。沖縄県に生息する種では、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ、イボイモリ、ヤンバルテナゴコガネ、ヒメタニワタリなどが指定されている。^[10]

固有種（固有亜種）（第1章、第2章-1）

分布が特定の地域に限定される種や亜種のこと。この場合、特定の地域には、国レベル、都道府県レベル、地域レベルなどさまざまなとらえ方がある。たとえば、ヤンバルクイナは、日本の固有種であるだけでなく、沖縄県沖縄島、やんばる地域の固有種である。^[11]

さ行

在来種（第2章-1）

本来の地域に自然分布する種のこと。^[12]

サロゲート（第 2 章 - 1）

ある地域の生物多様性を代替的に表す指標のこと。生態系の基盤分類群、分布情報が豊富な生物分類群、保全上重要な分類群が一般的に用いられる。本指針においては、陸域の 10 分類群、海域の 7 分類群をサロゲートとした。^[13]

ジオコーディング（第 2 章 - 1）

住所や場所の名前といった位置を表す情報を、緯度経度情報に変換する処理のこと。この処理を行うことで、GIS（地理情報システム）上で位置の検索や分析等が可能になる。^[14]

シノニム（第 2 章 - 1）

同じ種に付けられた複数の学名（標準学名）のこと。シノニムのうち、最も古い学名が有効だという原則がある（先取権）。ある種について有効な学名は 1 つだけなのにも関わらずシノニムが生まれる過程としては、すでに新種記載されているのを知らずに改めて記載してしまった場合や、分類体系の見直しで属名が変更された場合などがある。

象徴種（第 2 章 - 1）

特徴的な容姿や馴染み深さなどから、地域の象徴となって人々の環境保全・保護の関心を高めることが期待される種のこと。本県における例として、イリオモテヤマネコ、ジュゴンなど。

生態系サービス（第 1 章）

人々が生態系から得られる恵みのこと。2000 年代初めに UNEP（国連環境計画）が行った「ミレニアム生態系評価」では、供給サービス（食料や水、原材料など）、調整サービス（自然災害の緩和、水質浄化など）、文化的サービス（レクリエーションや観光など）、基盤サービス（土壌、酸素、栄養分など）の 4 つに分類される。^[15]

生物多様性（第 1 章）

生物が長い歴史の中で獲得した、様々な姿形や生活様式といった生物間の違いのこと。遺伝的多様性、種の多様性、生態系の多様性という 3 つのレベルで捉えられる。遺伝的多様性とは、種が同じでも持っている遺伝子が異なることを指す。種の多様性とは、様々な生物種が存在する状態を指す。生態系の多様性は、様々な生物の相互作用から構成される様々な生態系が存在することを指す。^[1]

生物多様性おきなわ戦略（第 1 章）

平成 25 年に策定された、沖縄の生物多様性の保全と持続可能な利用を図るための基本計画のこと。戦略では目標達成に向けた 5 つの基本施策（1.生物多様性の損失を止める、2.生物多様性を保全・維持し、回復する、3.自然からの恵みを賢明に利用する、4.生物多様性に対する認識を向上させる、5.生物多様性の保全に関する取組に県民参加を促す）を展開していくこととなっており、そのための行動計画、推進体制が示されている。^[16]

生物多様性条約（第 1 章、第 2 章 - 1）

生物多様性の保全と持続可能な利用、遺伝資源による利益の公正な配分を目的とした条約のこと。1992 年にブラジルのリオで開催された国連環境開発会議（地球サミット）において署名が開始され、1993 年に発効した。生物多様性の保全だけでなく、持続的な利用を明記していることが特徴である。2018 年現在、194 カ国、EU、パレスチナが締結しており、日本は 1993 年に締結している。^[17]

生物多様性条約第 10 回締約国会議（CBD-COP10）（第 1 章）

生物多様性条約の10回目となる国際会議のこと。2010年10月に名古屋市で開催され、2020年を目標とした「愛知目標」を含む新戦略計画2011-2020が採択された。愛知目標は20項目からなり、数値目標を含む具体的なものである。例えば「少なくとも陸域17%、海域10%が保護地域などにより保全される」という目標があり、多くの国が国家戦略を改訂した。^[17]

生物文化（第2章-2）

動植物とつながった文化のこと。地域毎に動植物に付けられた方言名や、動植物の利活用方法などが含まれる。本指針では、生物多様性と文化多様性のつながりとして生物文化を位置づけ、県内各地の生物文化について文献調査及び聞き取り調査を実施し、環境カルテに記載した。生物文化多様性につながる概念だが、本指針の生物文化は個別の生物の方言名と利用に注目している、特に野生生物に関連するものを重視して抽出しているなどの独自性がある。

生物文化多様性（第2章-2）

自然と人間（文化）が互いを活かしながら存在する相互作用関係に注目し、それを一体的に保全しようとする分野横断的な考え方のこと。ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）と生物多様性条約事務局によって生物多様性と文化多様性をつなぐ共同プログラムが発足し、生物多様性条約締結国第10回会議（CBD-COP10）で正式に位置づけられている。^[18]

絶滅危惧種（第1章、第2章-1）

様々な要因により個体数が減少し、絶滅のおそれがある種や亜種のこと。沖縄県内の絶滅危惧種は、「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）」にまとめられている。^[16]

全天日射量（第2章-1）

天空の全方向からの太陽放射（全天日射）を、水平面で受けた単位面積あたりの全天日射エネルギー量のこと。^[19]

た行

天然記念物（第3章）

学術上貴重で、わが国の自然を記念するものとして国や自治体に指定された動物、植物、地質・鉱物、それらに富む天然保護区域などのこと。令和2年現在、沖縄県内には国指定が55件、県指定が50件、市町村指定が124件ある。例として、カンムリワシ（国指定特別天然記念物）、クロイトカゲモドキ（県指定天然記念物）、大浦のマングローブ林（名護市指定天然記念物）などがある。^[20]

は行

ハビタット（第2章-1）

ある生物の種が生息・生育する環境のこと。地形などの物理的な側面と、大きな木の陰などの生物的な側面によって特徴づけられる。

ビッグデータ（第1章）

これまでの単一データベースシステムで管理可能なデータではなく、様々な種類、形式が含まれた大量のデータのこと。情報通信技術（ICT）の進展により、このようなデータの生成・収集・蓄積等が容易に可能になってきており、自然環境保全においてもその活用事例が増えつつある。^[21]

標準学名（第 2 章 - 1）

ラテン語で表した正式な生物の名称のこと。

保全利用協定（沖縄県）（第 2 章 - 3）

エコツアーに関わる事業者が、利用する自然環境の保全と持続的な利用を目的として、自主的に策定する自主ルールのこと。その内容が適切なものであれば、沖縄県知事がこれを適当なものとして認定することができる。令和 2 年現在、6 地区の協定が認定を受けており、主な協定項目は自然環境への配慮、安全管理、地域への配慮である。^[22]

ま行

マングローブ（第 2 章 - 1）

熱帯、亜熱帯の汽水域の河口部などに生育する植物群落の総称。マングローブを構成する植物種は、高塩分に対処する仕組みを持ち、湿地に適応した特徴的な根や種子などを持つ。沖縄県内にはメヒルギ、オヒルギなど 7 種のマングローブ植物が生育する。^[1]

モニタリングサイト 1000（第 3 章）

環境省生物多様性センターが実施している生態系の長期的なモニタリングのこと。日本全国の 1000 ヶ所程度での長期モニタリングによって、生態系や自然環境の変化、生物種の減少等の問題を早期に把握することを目的としている。「森林・草原」「里地」「沿岸・浅海域」など生態系ごとにサイトが設置されており、サンゴ礁のモニタリングも行われている。本指針の環境カルテ（海域）に掲載した写真の一部は、モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査で得られたものである。^[23]

ら行

ラブラシアン（第 2 章 - 1）

地形面の凹凸を表す指標として用いられる値。

レッドリスト（第 2 章 - 1,5）

専門家の検討により選定された、絶滅の恐れがある野生生物の種のリストのこと。国際的には国際自然保護連合（IUCN）が作成しており、国内では環境省、水産庁のほか、地方公共団体や NPO などが作成している。^[24]

わ行

和名（第 2 章 - 1）

生物につけられた日本名のこと。各地域で使っている地方名と日本全国で共通な標準和名がある。例えば、同じ魚について、ハマサキノオクサンは八重山地域での地方名であり、トガリエビスは標準和名である。^[25]

英数字

Bioclim（第 2 章 - 1）

生物の分布生息にとって重要と考えられる気候変数のこと。種分布モデルなどの生態学的モデルで使用されることが多い。毎月の気温と降水量を元に算出される 19 の変数がある。^[26]

Darwin core（第 2 章 - 1）

生物標本や観察結果など、生物多様性の情報を記録、共有するために用いられる国際的な形式のこと。Biodiversity Information Standards (TDWG)によって提案されている。^[27]

GIS（第1章）

Geographic Information System（地理情報システム）の略。地理的情報（例：GPS受信機で取得した位置情報）を持ったデータを管理・加工したり、地図上に分かりやすく表示したり、高度な分析を行ったりできる。身近な例として、スマートフォンのナビゲーション機能もGISの活用例である。本指針作成にあたっては、生物多様性の解析や環境カルテの作成に活用されている。^[28]

SPSS（第2章-4）

Content of Suspended Particles in Sea Sedimentの略で、海底の底質に含まれる懸濁物質含量のこと。1970年代の開発工事等によって沖縄の海には大量の赤土が流れこみ、沿岸海域の環境に大きな悪影響を与えた。SPSS法はこのような赤土汚染の状況をモニタリングするために、1980年代に沖縄県衛生環境研究所によって開発された。特別な器具や高度な分析を要しない簡便な手法であること、サンゴの健全な生息等の指標として使用できることなどから、県内沿岸域の環境調査において広範に用いられている。^[29]

3次メッシュ（第1章、第2章-1）

日本全国を緯度経度でメッシュ（網目状）に区画したものを標準地域メッシュと呼び、各種統計の集計単位などとして活用されている。1次メッシュ、2次メッシュ、3次メッシュの3段階に分けられる。3次メッシュは2次メッシュ（およそ10km×10km）を縦横に10等分したものであり、距離にしておよそ1km×1km。ただし、各メッシュの東西方向の長さは緯度によって異なり、北海道と比較して沖縄では約1.3倍の長さである。本指針では、環境カルテ（陸域）を3次メッシュ単位で作成しており、生物多様性の情報等、多くのデータを3次メッシュ単位で整理している。^[30]

5. 参考文献

本指針での生物多様性の解析、生物文化の抽出等に関して情報源とした文献、データベース、ウェブサイト等を以下に示す。

(1) 生物多様性解析に関する引用文献

第2章－1及び第2章－5で解析手法を示した生物多様性解析について、引用文献を以下に示す。

1. 久保田康裕, 楠本聞太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之. 2017. 生物多様性の保全科学:システム化保全計画の概念と手法の概要. 日本生態学会誌 67: 267-286.
2. 米倉浩司, 梶田忠. 2003. BG Plants 和名－学名インデックス (YList), <<http://ylist.info>>
3. 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 東京.
4. 日本爬虫両棲類学会. 2015. 日本産爬虫両生類標準和名. <<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/wamei.html>>
5. 中坊徹次 (編). 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
6. 西平守孝, Veron J. 1995. 日本の造礁サンゴ類. 海游舎, 東京.
7. 国土交通省. 2007. 国土交通省河川環境データベース(河川水辺の国勢調査) <<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/>>
8. JODC. 2013. <http://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/JODC_J-DOSS>
9. Wieczorek J., Bloom D., Guralnick FR., Blum S., Doring M., Giovanni R. Tim Robertson⁴, David Vieglais 2012. Darwin Core: An Evolving Community-Developed Biodiversity Data Standard. PLoS ONE 7: e29715. doi:10.1371/journal.pone.0029715
10. 初島住彦, 天野鉄夫. 1994. 琉球植物目録. 沖縄生物学会.
11. 島袋敬一. 1997. 琉球列島維管束植物集覧. 九州大学出版会.
12. 阿部永, 石井信夫, 金子之史, 前出喜四雄, 三浦慎悟, 米田政明. 2005. 日本の哺乳類 (改訂版). 東海大学出版会, 東京.
13. 前之園唯史, 戸田守. 2007. 琉球列島における両生爬虫類の分布. Akamata 18: 28-46.
14. 吉郷英範, Motomura H., Dewa S., Furuta K., Matsuura K. 2014. 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuana 9: 1-153.

15. Hirao T., Kubota Y., Murakami M. 2015. Geographical patterns of butterfly species diversity in the subtropical Ryukyu Islands: the importance of a unidirectional filter between two source islands. *Journal of Biogeography* 42: 1418-1430.
16. McWhirter, D. W., 池長裕史, 五百沢日丸. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄県産鳥類目録. *沖縄県立博物館紀要* 22: 33-152.
17. 沖縄野鳥研究会. 2002. 沖縄の野鳥. 新報出版, 那覇.
18. Moilanen A. 2007. Landscape Zonation, benefit functions and target-based planning: Unifying reserve selection strategies. *Biological Conservation* 134: 571-579.
19. Lehtomäki J. & Moilanen A. 2013. Methods and workflow for spatial conservation prioritization using Zonation. *Environmental Modelling & Software*, 47: 128-137.
20. Lehtomäki J., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T., Kubota Y., Moilanen A. 2018. Spatial conservation prioritization for the East Asian islands: A balanced representation of multitaxon biogeography in a protected area network. *Diversity and Distributions*.
21. Kubota Y., Hirao T., Fujii S., Shiono T., Kusumoto B. 2014. Beta diversity of woody plants in the Japanese archipelago: the roles of geohistorical and ecological processes. *Journal of Biogeography* 41: 1267-1276.
22. Kubota Y., Shiono T., Kusumoto B. 2015. Role of climate and geohistorical factors in driving plant richness patterns and endemism on the east Asian continental islands. *Ecography* 38: 639-648.
23. Kubota Y., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T. 2017. Phylogenetic properties of Tertiary relict flora in the East Asian continental islands: imprint of climatic niche conservatism and in situ diversification. *Ecography* 40: 436-447.
24. Kusumoto B., Shiono T., Konoshima M., Yoshimoto A., Tanaka T., Kubota Y. 2017. How well are biodiversity drivers reflected in protected areas? A representativeness assessment of the geohistorical gradients that shaped endemic flora in Japan. *Ecological Research* 32: 299-311.
24. Ladle, R.J. & Whittaker, R.J. 2011. *Conservation Biogeography*. John Wiley & Sons, Ltd., Publication, Oxford.
25. Hortal J., de Bello F., Diniz-Filho J.A.F., Lewinsohn T.M., Lobo J.M., Ladle R.J. 2015. Seven shortfalls that beset large-scale knowledge of biodiversity. *Annual Review of Ecology, Evolution, and Systematics* 46:523-549.

26. Millien-Parra, V. & Jaeger, J.J. 1999. Island biogeography of the Japanese terrestrial mammal assemblages: an example of a relict fauna. *Journal of Biogeography*, 26, 959–972.
27. Mittermeier, R.A., Turner, W.R., Larsen, F.W., Brooks, T.M. & Gascon, C. 2011. Global biodiversity conservation: the critical role of hotspots. *Biodiversity hotspots* (ed. by F.E. Zachos & J.C. Habel). 3–22. Springer Berlin Heidelberg.
28. 久保田康裕, 楠本聞太郎, 藤沼潤一, 塩野貴之, 鈴木亮, 福島新, 小澤宏之, 宮良工. 2019. 生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する: 沖縄県の生物多様性保全利用指針 OKINAWA 作成の事例. *日本生態学会誌* 69: 239-250.

(2) 生物分布情報に関する参考文献等

第2章-1で解析手法を示した生物分類群の空間分布情報について、情報源を表4-5-1に示す。

表 4-5-1 (1). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
(株)沖縄環境保全研究所. 2014. 石垣新川川河口漁場環境調査業務報告書. 資料編2: 1-52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	318	76	328	13	0	○	
Global Biodiversity Information Facility	0	0	1049	679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	○	
2020. サング礁生物多様性調査海浜・海草類データ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1265	0	0	○	
1998. ジュゴン, 海城自然環境保全基礎調査 海棲動物調査報告書: 253p	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
2004. ジュゴンと藻場の広域的調査 平成13年~15年度結果概要: 31p	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2006. ジュゴンと藻場の広域的調査 平成13年~17年度結果概要: 44p	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2016. ジュゴンと地域社会との共生推進の取組 平成18~27年度結果概要: 47p	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
ジュゴンと地域社会との共生推進の取組(平成28年度結果概要について): 7p	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
ジュゴンと地域社会との共生推進の取組(平成29年度結果概要について): 8p	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
ジュゴンと地域社会との共生推進の取組(平成30年度結果概要について): 9p	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
2014. シュワブ(H24)水域生物等調査 調査報告書: 1-518	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119	0	0	○	
2012. 豊田空港環境影響調査及び事後調査計画作成業務委託報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	53	13	0	10	0	0	0	○	
2015. 一人一枚写真発表. 九州両生爬虫類研究会誌. 6: 54-59	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2014. 沖縄県指定伊良部島鳥獣保護区, 狩俣, 島尻鳥獣保護区, 仲里鳥獣保護区及び貝志川鳥獣保護区における鳥獣等生息状況調査報告書: 1-125	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○
2015. 沖縄県指定貝志川鳥獣保護区更新計画書: 1-5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○
2015. 沖縄県指定佐手鳥獣保護区佐手特別保護地区指定計画書: 1-5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2013. 沖縄県指定山田鳥獣保護区及び屋嘉比島鳥獣保護区における鳥獣の生息実態調査業務報告書	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○
2015. 沖縄県指定狩俣, 島尻鳥獣保護区更新計画書: 1-5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○
2015. 沖縄県指定西銘島鳥獣保護区西銘島特別保護地区指定計画書: 1-5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2015. 沖縄県指定仲里鳥獣保護区更新計画書: 1-5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2015. 沖縄県指定名護島鳥獣保護区名護島特別保護地区指定計画書: 1-5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2015. 沖縄県指定名護島鳥獣保護区と那覇島特別保護地区指定計画書(案): 1-8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2001. 海城自然環境保全基礎調査 重要沿岸域生物調査報告書(平成13年全国版): 1-189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	○	○
環境省「モニタリングサイト1000」プロジェクト	0	6164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
2006. 県指定比謝川鳥獣保護区比謝川特別保護地区指定計画書: 1-6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2006. 県指定末吉鳥獣保護区末吉特別保護地区指定計画書: 1-5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2009. 県立自然公園新規指定調査(宮古郡多良間村)報告書	23	0	0	8	0	0	0	0	3	12	0	0	0	42	0		○
西表島生態系保護地域見直し調査	0	0	0	0	0	379	0	0	0	0	0	0	0	0	0		○
2011. 多板綱・鰐足綱・鰐足綱目録, 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録第6号: 琉球大学資料館(風樹館)多板綱・鰐足綱・鰐足綱目録 第6号: 琉球大学資料館(風樹館)多板綱・鰐足綱・鰐足綱目録 第6号: 琉球大学資料館(風樹館)二枚貝類標本目録(2)3-124. 2: 3-124	0	0	0	0	0	0	0	0	180	0	0	2696	0	0	0	○	○
2004. 大保鳥獣保護区更新計画書: 1-6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
2008. 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(藻場調査)報告書: 1-242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	0	0	0	○	○
2005. 遊名喜県立自然公園西森園地環境調査業務委託報告書	2	0	2	10	0	0	0	0	6	2	0	0	11	0	0		
2010. 二枚貝目録, 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録 第2号: 琉球大学資料館(風樹館)二枚貝類標本目録(2)3-124. 2: 3-124	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	1945	0	0	0	○	○
名和文献データベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2728	0	0	0	○	○
2020. 令和元年度ジュゴンと地域社会との共生推進委託業務: 17p	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
Akihito, Katsusuke Meguro. 2000. Review of the gobiid genus <i>Cristatogobius</i> found in Japan with description of a new species. <i>Ichthyological Research</i> . 47(3): 249-261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	○	
Anker, Arthur. 2014. On the presence of the anchialine shrimp <i>Callinastrea pholidota</i> Holthuis, 1973 (Crustacea Decapoda Caridea Barbouriidae) in Shimoji Island, Ryukyu Islands, Japan. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 17: 7-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0		○
Arie Y, Fujimoto T, Kouzuma T, Kobayashi M. 3.底生生物・魚類調査. <i>Bulletin of Fukuoka Fisheries and Marine Technology Research Center</i> : (3-1)-(3-5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	○	
Ayako Shoji, Jun Yokoyama, Masakado Kawata. 2007. Molecular phylogeny and genetic divergence of the introduced populations of Japanese guppies, <i>Poecilia reticulata</i> . <i>Conservation Genetics</i> . 8: 261-271	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
DANIEL L. GEIGER, TAKENORI SASAKI. 2009. New Scissurellidae and Anatomidae from Manazuru, Sagami Bay, and Okinawa, Japan (Mollusca: Gastropoda: Vetigastropoda). <i>Molluscan Research</i> . 29: 1-16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	○	
David A. Weese, Fujita Y, Hidaka M, Scott R. Santos. 2012. THE LONG AND SHORT OF IT: GENETIC VARIATION AND POPULATION STRUCTURE OF THE ANCHIALINE ATYID SHRIMP <i>CARIDINA RUBELLA</i> ON MIYAKO-JIMA, JAPAN. <i>Journal of Crustacean Biology</i> . 32(1): 109-117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0		○
DAVID A. WEESE, FUJITA Y, SCOTT R. SANTOS. 2013. Multiple Colonizations Lead to Cryptic Biodiversity in an Island Ecosystem: Comparative Phylogeography of Anchialine Shrimp Species in the Ryukyu Archipelago, Japan. <i>THE BIOLOGICAL BULLETIN</i> . 225(1): 24-41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	2	0	○	○
David A. Weese, Yoshihisa Fujita, Scott R. Santos. 2016. Looking for needles in a haystack Molecular identification of anchialine crustacean larvae (Decapoda Caridea) from the Shiokawa Spring, Okinawa Island, Ryukyu Islands, Japan. <i>Journal of Crustacean Biology</i> . 36(1): 61-67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	○	
Douglass F. Hoese, Gerald R. Allen. 2011. A review of the amphidromous species of the <i>Glossogobius celebis</i> complex, with description of three new species. <i>Cybio</i> . 35(4): 269-284	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Fabienn Ziad-Kunzuli and K. Tachihara. 2016. Female defence polygyny and plasticity in the mating system of the demersal triggerfish <i>Rhinecanthus aculeatus</i> (Pisces: Balistidae) from Okinawa Island. <i>Marine Biology</i> . 163: 27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
Fabienn Kunzuli, Katsunori Tachihara. 2012. Validation of age and growth of Picasso Triggerfish (Balistidae: <i>Rhinecanthus aculeatus</i>) from Okinawa Island, Japan, using sectioned vertebrae and dorsal spines. <i>Journal of Oceanography</i> . 68: 817-829	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
Fautin, Daphne G. 2013. Hexacarallians of the World	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	○	
Fujino Takahiro, Shokita Shigemitsu. 1975. Report on some new atyid shrimps (Crustacea, Decapoda, Caridea) from the Ryukyu Islands. 琉球大学理工学部紀要. 理学編. 18: 93-113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	○	○
Fujita Y, Paul F. dark. 2010. The larval development of <i>Chirostylus stellaris</i> Osawa, 2007 (Crustacea: Anomura: Chirostylidae) described from laboratory reared material. <i>Crustacean Research</i> . 39: 55-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
Fujita Y, Peter J. F. Davie, Peter K. L. Ng. 2015. A new stygobitic prawn of the genus <i>Macrobrachium</i> Spence Bate, 1864, from anchialine caves in Christmas Island, Indian Ocean; with a rediagnosis of <i>M. miyakoense</i> Komai & Fujita, 2005 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Palaemonidae). <i>RAFFLES BULLETIN OF ZOOLOGY</i> . 63: 610-625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		○
Hajime Matsubara, Yuki Kubara, Hiroka Yoshikawa, Daisuke Iwata, Masaharu Shimizu, Yoshifumi Horie, Takuto Imai, Yuta Fukuoka, Ken-ichi Watanabe, Hidemasa Shione. 2013. Gonadal histology of wild giant mottled eel <i>Anguilla marmorata</i> in Okinawa, Japan. <i>Biogeography</i> . 15: 55-62	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Harumi SAKAI, Mitsuaki SATO. 1982. First Records of Five Teleostean Fishes and Three Second Records of Gobiid Fishes from Japan, Collected in Rivers on the Ryukyu Islands. 北海道大学水産学部研究報告. 33(2): 79-88	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	○	○
Hideo Ohba, Shinya Matsuda, Ryuji Asami, Yasufumi Iryu. 2016. Recent Dasycladales (Chlorophyta) in Okinawa Jima in the Central Ryukyus. <i>WILEY</i> : 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	○	

表 4-5-1 (2). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
HIDETOSHI OTA. 2003. A New Subspecies of the Agamid Lizard, <i>Japalura polygonata</i> (Hallowell, 1861) (Reptilia: Squamata), from Yonagunijima Island of the Yaeyama Group, Ryukyu Archipelago. <i>Current Herpetology</i> . 22(2): 61-71	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HIDETOSHI OTA. 1990. The Tree Gecko, <i>Hemiphyllodactylus typus typus</i> (Lacertilia: Gekkonidae): an Addition to the Herpetofauna of Japan. <i>Japanese Journal of Herpetology</i> . 13(3): 87-90	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Hidetoshi Sakayama, Makoto M. Watanabe, Hisayoshi Nozaki. 2006. Morphology, molecular phylogeny and taxonomy of <i>Nitella comptonii</i> (Charales, Characeae). <i>Phycologia</i> . 45(4): 417-421	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
Higa T, Fujita Y, Shokita S. 2005. Complete larval development of a scyllaridine lobster, <i>Gaelearctus kitanoviriosus</i> (Harada, 1962) (Decapoda: Scyllaridae: Scyllarinae), reared under laboratory conditions. <i>Crustacean Research</i> . 34: 1-26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Hiromori Shimabukuro, Masako Kawane, Masami Hamaguchi. 2012. New record of <i>Sargassum denticarpum</i> Ajisaka (Fucales, Phaeophyceae) from Iriomote Island (Ryukyu Archipelago, Japan). <i>Botanica Marina</i> . 55: 209-215	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
Hiroshi Senou, Tetsuo Yoshino, Munee Okiyama. 1987. A Review of the Mulletts with a Keel on the Back, <i>Liza carinata</i> Complex (Pisces: Mugilidae). <i>PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY</i> . 32(4-6): 303-321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
I-Shiung Chen, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou. 2008. A NEW SPECIES OF GOBIID FISH, <i>LUCIOGOBIUS</i> FROM RYUKYUS, JAPAN (TELEOSTEI: GOBIIDAE). 16(4): 250-254	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Imai, H., Kashiwagi, F., Cheng, J. H., Chen, T. I., Tachihara, K. & Yoshino, T. 2009. Genetic and morphological evidence of hybridization between <i>Nematalosa japonica</i> and <i>N. come</i> (Clupeiformes: Clupeidae) off Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, Japan. <i>Fisheries Science</i> . 75: 343-350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
Ishikawa, T., T. Shimose and K. Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of <i>Nile tilapia</i> (<i>Oreochromis niloticus</i>) and geographical variation across its native and non-native ranges. <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 96: 603-601	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kanak, M.K. and K. Tachihara. 2008. Reproductive biology of common silver biddy <i>Gerres oyena</i> in Okinawa Island of southern Japan. <i>Fisheries Science</i> . 74: 265-275	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
Katsunori TACHIHIRA, Emi OBARA. 2003. 沖縄島源河川におけるカワスズメの年齢と成長. <i>SUISANZOSHOKU</i> . 51(3): 307-313	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Katsunori TACHIHIRA, Emi OBARA. 2003. 直達 発生型魚類カワスズメの卵内発生と稚魚への形態変化の過程. <i>SUISANZOSHOKU</i> . 51(3): 295-306	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Katsushi Sakai, Y. Hirano. 2006. Three new species of Upogebiidae (Thalassinidea) from Iriomote Island, Ryukyu, Japan. <i>Crustaceana</i> . 79(8): 977-991	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
Katsutoshi Watanabe, Keiichiroh Iguchi, Kazumi Hosoya, Mutsumi Nishida. 2000. <i>Ichthyological Research</i> . 47(1): 43-50	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kawakami, T. and K. Tachihara. 2011. Dispersal of land-locked larval Ryukyu-ayu, <i>Plecoglossus altivelis ryukyensis</i> , in the Fukuji Reservoir, Okinawa Island. <i>Cybiurn</i> . 35: 337-343	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2010. Diel and Seasonal Occurrence Patterns of Drifting Fish Larvae in the Teima Stream, Okinawa Island. <i>Pacific Science</i> . 64(2): 161-176	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2004. Instream distributions and feeding habits of two species of sleeper, <i>Eleotris acanthopoma</i> and <i>Eleotris fusca</i> , in the Teima River, Okinawa Island. <i>Ichthyological Research</i> . 51: 233-240	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ken Maeda, Katsunori Tachihara. 2005. Recruitment of amphidromous sleepers <i>Eleotris acanthopoma</i> , <i>Eleotris melanosoma</i> , and <i>Eleotris fusca</i> into the Teima River, Okinawa Island. <i>Ichthyological Research</i> . 52: 325-335	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kensuke Ichihara, Shogo Arai, Masayuki Uchimura, Etienne J.Fay, Hiroki Ebata, Masanori Hiraoka, Satoshi Shimada. 2009. New species of freshwater Ulva, <i>Ulva limnetica</i> (Ulvales, Ulvophyceae) from the Ryukyu Islands, Japan. <i>Phycological Research</i> . 57: 94-103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
Koeda, K. K. Tsuzaki, N. Hayashida and K. Tachihara. 2014. First records of two rare snappers, <i>Lutjanus madras</i> and <i>L. dodecanthoides</i> , from Okinawan waters. <i>Fauna Ryukyuan</i> . ISSN2187-6657: 1-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Fukagawa, T. Ishihara and K. Tachihara. 2013. Reproductive biology of nocturnal reef fish <i>Pempheris adusta</i> (Pempheridae) in Okinawa Island, Japan. <i>Galaxea, Journal of Coral Reef Studies</i> : 221-228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Yoshino and K. Tachihara. 2013. <i>Pempheris ufugari</i> sp. nov., a new species in the genus <i>Pempheris</i> (Perciformes, Pempheridae) from the oceanic islands of Japan. <i>Zootaxa</i> . 3609: 231-238	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
Koeda, K., T. Yoshino, H. Imai and K. Tachihara. 2010. Description of new Japanese and northernmost records of a pempherid fish, <i>Pempheris vanicolensis</i> , from Iriomote Island, southern Ryukyu Archipelago. <i>Biogeography</i> . 12: 77-82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Koeda, Keita, Taiki Ishihara, Takanobu Fukagawa and Katsunori Tachihara. 2016. Life cycle differences between two species of genus <i>Pempheris</i> based on age determination around Okinawa-jima Island. <i>Ichthyological Research</i> . 63: 519-528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Gerald R. Allen. 2007. Review of the cheek-spine goby genus <i>Gladigobius</i> , (Actinopterygii, Perciformes, Gobiidae), with descriptions of two new species from the Indo-West Pacific. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A(Zoology)</i> . 33(4): 193-206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Suzuki, Hiroshi Senou, Korechika Yano. 2005. Records of Three Shrimp-goby Species (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) from the Ryukyu Archipelago, Japan. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A(Zoology)</i> . 31(4): 191-204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Toshiyuki Suzuki. 2005. Two New Species of the Gobiid Fish Genus <i>Eviota</i> (Teleostei, Perciformes, Gobiidae) from the Western Pacific. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A(Zoology)</i> . 31(2): 65-76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Koichi Shibukawa, Yasuhiko Taki. 1996. A new gobiid fish, <i>Acanthogobius insularis</i> , from the Ryukyu Islands, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 43: 79-85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
Kondo, M., K. Maeda, N. Yamasaki and K. Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyensis</i> (Gobiidae). <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KOICHI KAWAMURA, RYUJI YONEKURA, YUIKO OZAKI, OSAMU KATANO, YOSHINORI TANIGUCHI, KENJI SAITOH. 2010. The role of propagule pressure in the invasion success of bluegill sunfish, <i>Lepomis macrochirus</i> , in Japan. <i>Molecular Ecology</i> . 19: 5371-5388	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Kunio Hirata. 1991. 沖縄県石川島名蔵ラグーン内外の底生動物相. (24): 121-173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	124	0	37	0	0	0
Kusuto NANJO, Hiroyoshi KOHNO, Mitsuhiro SANO. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. <i>Fisheries Science</i> . 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	0	0

表 4-5-1 (3). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻草類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
M Takada, K Tachihara. 2009. Comparisons of age, growth, and maturity between male and female, and diploid and triploid individuals in <i>Carassius auratus</i> from Okinawa-jima Island, Japan. <i>Aquatic Conservation: Marine and Freshwater Ecosystems</i> . 19: 806-814	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
M.Katoh. 1989. Life history of the golden ring cowry <i>Cypraea annulus</i> (Mollusca: Gastropoda) on Okinawa Island, Japan. <i>Marine Biology</i> . 101: 227-234	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
Maeda, K and K Tachihara. 2014. Larval fish fauna of a sandy beach and an estuary on Okinawa Island, focusing on larval habitat utilization by the suborder Gobioidae. <i>Fisheries Science</i> . 80: 1215-1229	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	
Maeshiro, R., Kusumoto, B., Fujii, S., Shiono, T., & Kubota, Y. 2013. Using tree functional diversity to evaluate management impacts in a subtropical forest. <i>Ecosphere</i> . 4(6): 1-7	0	0	0	0	0	1450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masafumi MATSUI, Takaji MATSUI. 1982. <i>Hyla hallowelli</i> Recorded from Iriomotejima, Yaeyama group, Ryukyu Archipelago. <i>爬虫両棲類学雑誌</i> . 9(3): 79-86	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masaru Matsuda, Hiromichi Yonekawa, Satoshi Hamaguchi. 1997. Geographic Variation and Diversity in the Mitochondrial DNA of the Medaka, <i>Oryzias latipes</i> , as Determined by Restriction Endonuclease Analysis. <i>ZOOLOGICAL SCIENCE</i> . 14: 517-526	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masaki Kondo, Ken Maeda, Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2012. Spawning habitat and early development of <i>Luciogobius ryukyensis</i> (Gobiidae). <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 95: 291-300	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Matsune TAKEDA, Sadayoshi MIYAKE. 1968. Six unrecorded xanthid crabs from the Ryukyu Islands preserved in the Zoological Laboratory, Kyushu University. <i>沖縄生物学会誌</i> . 5(7): 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	
Matsune TAKEDA. 1972. Further Notes on the Unrecorded Xanthid Crabs from the Ryukyu Islands. <i>沖縄生物学会誌</i> . 9(11): 15-24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
Masaya Katoh. 1996. Seasonal variation in gonadal activity of females among four species of freshwater gobies in the <i>Rhinogobius brunneus</i> species complex in Okinawa, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 43(2): 169-174	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Masayuki Osawa, Tadafumi Maenosono. 2011. Two species of the genus <i>Petrolisthes</i> (Decapoda Anomura Porcellanidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, with description of a new species: 109-118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
Masayuki Saigusa, Yuriko Hirano, Bong Jung Kang, Kazuki Sekine, Masatsugu Hatakeyama, Takahiro Nanri, Masami Hamaguchi, Nobufumi Masunari. 2018. Classification of the Intertidal and Estuarine Upogebiid Shrimps (Crustacea Thalassinidea), and Their Settlement in the Ryukyu Islands, Japan. <i>Research Article, J Mar Biol Oceanogr</i> . 7(2): 1-12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	
Md. Sirajul Islam, Shigemitsu Shokita, Takashi Nagai, Tohru Naruse, Akifumi YOGI, Tetsu OSHIRO. 2002. 沖縄島瀬波除波川のマングローブ域における大型底生生物の分布と出現量. <i>沖縄生物学会誌</i> . (40): 15-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	33	0	0	
MIKI SHIRAKIHARA, HIDEYOSHI YOSHIDA, HIROYUKI YOKOCHI, HISAO OGAWA, TARO HOSOKAWA, NAOTO HIGASHI, TOSHIO KASUYA. 2007. Current status and conservation needs of dugongs in southern Japan. 23(3): 694-706	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Misuzu Aoki, Yoko Watanabe, Hideyuki Imai, Mahito Kamada, and Keiji Wada. 2010. Interpopulation variations in life history traits in the fiddler crab <i>Uca arcuata</i> . <i>Journal of Crustacean Biology</i> . 30(4): 607-614	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
Mitsuaki Sato, Harumi Sakai, Morizumi Nakamura. 2004. <i>Kuhlia boninensis</i> (Fowler, 1907), a junior synonym of <i>Kuhlia munda</i> (De Vis, 1884) (Perciformes: Kuhlidae). <i>Ichthyological Research</i> . 51: 70-72	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Mutsumi Nishida, Yasumasa Sawashi. 1987. Geographic Differences in the Number of Longitudinal Scales of the Ayu <i>Plecoglossus altivelis</i> . <i>Nippon Suisan Gakkaishi</i> . 53(11)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nakabo, T., Senou, H., & Aizawa, M. 1998. New species of Pseudocallurichthys (Teleostei: Callionymidae) from Iriomote Island, Japan. <i>Copeia</i> . 1998: 451-455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
Naoya Ohtsuchi, Ryuta Yoshida. 2018. First record of <i>Menaethius orientalis</i> (Sakai, 1969) (Decapoda Brachyura Epialtidae) from the Ryukyu Archipelago. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 43: 1-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
Naruse T, Hsi-Te Shih, Fujita Y, Jose Christopher E. Mendoza, Peter K. L. Ng. 2018. Size-associated morphological changes in <i>Epigrapus natatus</i> (Heller, 1865) and the taxonomic status of <i>E. villosus</i> (Ng, 2003) (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Gecarcinidae). <i>RAFFLES BULLETIN OF ZOOLOGY</i> . 66: 208-216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	
National Museum of Natural History (NMNH), Smithsonian Institution. NMNH Invertebrate Zoology Collections	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara, Katsunori Tachihara. 2007. Pelagic larval duration and morphology at recruitment of <i>Stiphodon percnopterygius</i> (Gobiidae: Sicydiinae). <i>Raffles Bulletin of Zoology, supplement</i> . 14: 209-214	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2007. Eggs and larvae of <i>Awaous melanocephalus</i> (Teleostei: Gobiidae). <i>Ichthyological Research</i> . 54(1): 89-91	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi Yamasaki, Katsunori Tachihara. 2006. Reproductive biology and morphology of eggs and larvae of <i>Stiphodon percnopterygius</i> (Gobiidae: Sicydiinae) collected from Okinawa Island. <i>Ichthyological Research</i> . 53: 13-18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Nozomi YAMASAKI, masashi KONDO, ken MAEDA, katsunori TACHIHARA. 2011. Reproductive biology of three amphidromous gobies, <i>Sicyopterus japonicus</i> , <i>Awaous melanocephalus</i> , and <i>Stenogobius</i> sp., on Okinawa Island. <i>Cybio</i> . 35(4): 345-359	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
O.S.Sergeeva, T. V. Titlyanova, E. A. Titlyanov. 2007. Species composition and distribution of algae on the fringing coral reef of Sesoko Island (Ryukyu Archipelago) before and after the natural catastrophe of 1998. <i>Russian Journal of Marine Biology</i> . 33(1): 30-42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	479	0	0	0	
Ohta, I. and K. Tachihara. 2004. Larval development and food habits of the marbled parrotfish, <i>Leptoscarus vaigiensis</i> , associated with drifting algae. <i>Ichthyological Research</i> . 51: 233-240	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0	0	
PAUL F. CLARK, Fujita Y, ALEXANDER D. BALL, PETER K. L. NG. 2012. The first zoeal stage morphology of <i>Crossototanus spinipes</i> (De Man, 1888) and <i>Pseudopalicus serripes</i> (Alcock & Anderson, 1895), with implications for palicoid systematics (Crustacea: Brachyura: Palicoidea). <i>Zootaxa</i> . 3367: 191-203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
Prince Akihito, Katsusuke Meguro. 1975. <i>Pandaka trimaculata</i> , a New Species of Dwarf Goby from Okinawa Prefecture, Japan and the Philippines. <i>魚類学雑誌</i> . 22(2): 63-67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
Prince Akihito, Katsusuke Meguro. 1975. Description of a New Gobiid Fish, <i>Glossogobius aureus</i> , with Notes on Related Species of the Genus. <i>魚類学雑誌</i> . 22(3): 127-142	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Rahman, M. H. and K. Tachihara. 2005. Age and Growth of <i>Sillago aeolus</i> in Okinawa Island, Japan. <i>Journal of Oceanography</i> . 61: 569-573	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
Roy T. Tsuda, Shintoku Kamura. 1991. 琉球列島における緑藻サボテングサ属の種相と地理的分布. <i>藻類</i> . 39(1): 57-76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0	

表 4-5-1 (4). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
Ryohei Tatsuno, Miwako Shikina, Kiyoshi Soyano, Koichi Ikeda, Tomohiro Takatani, Osamu Arakawa. 2013. Maturation-associated changes in the internal distribution of tetrodotoxin in the female goby <i>Yongeichthys criniger</i> . <i>Toxicon</i> . 63: 64-69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	○	
Sadao IKEHARA, Takuya ABE, Matsuei SHIMOJANA, Yoshiharu YONASHIRO, Susumu MIYAGI. 1976. Nest site of Nouguchigera or Okinawa Woodpecker(<i>Sapheopipo noguchii</i>). <i>沖縄生物学会誌</i> . (14): 55-60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
SAMMY. DE GRAVE, TIN-YAM CHAN, Fujita Y., Okuno J. 2012. Hippolytidae and Barbouriidae (Decapoda: Caridea) collected during the Ryukyu "KUMEJIMA 2009" expedition. <i>Zootaxa</i> . 3367: 95-102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0		○
Sancia E. T. van der Meij, Bastian T. Reijnen, James D. Reimer. 2017. Observations of coral-dwelling gall crabs (Cryptochiridae) in the intertidal zone of Odo Beach (Okinawa, Japan). <i>Fauna Ryukyuanica</i> . 37: 7-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	○	
Seiji MATSUMOTO, Haruhiko FUJIMOTO, Kenji TAKEHARA, Fumiyasu SATO, Mutsumi NISHIDA, Masanori KOHDA. 2007. ECOLOGY AND LIVORPH TRAITS OF THE SWAMP EEL <i>MONOPTERUS ALBUS</i> (SYNBRANCHIIFORMES: SYNBRANCHIIDAE) ON THE RYUKYU ISLANDS, JAPAN. <i>関西自然保護機構会誌</i> . 29(1): 5-18	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
Shigeo Kawaguchi, Satoshi Shimada, Hong Wei Wang, Michio Masuda. 2004. THE NEW GENUS <i>YONAGUNIA KAWAGUCHI ET MASUDA</i> (HALYMENIACEAE, RHODOPHYTA), BASED ON <i>Y. TENUIFOLIA KAWAGUCHI ET MASUDA</i> SP. NOV. FROM SOUTHERN JAPAN AND INCLUDING <i>Y. FORMOSANA (OKAMURA) KAWAGUCHI ET MASUDA</i> COMB. NOV. FROM SOUTHEAST ASIA. <i>J. Phycol.</i> 40: 180-192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0		○
Shimose, T. and K. Tachihara. 2005. Age, growth and maturation of the blackspot snapper <i>Lutjanus fulviflammus</i> around Okinawa Island, Japan. <i>Fisheries Science</i> . 71: 48-55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2001. Estimation of spawning sites in the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> , based on sperm motility. <i>Ichthyological Research</i> . 48: 425-427	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Shin-ichiro Oka, Katsunori Tachihara. 2008. Migratory history of the spotted flagtail, <i>Kuhlia marginata</i> . <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 81: 321-327	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Suzuki, T. & H. Senou. 2013. Review of the sand-diving goby genus <i>Parkraemia</i> (Perciformes: Gobiidae), with descriptions of two new species from the Ryukyu Islands. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement</i> , 7: 53-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○	○
T. Ishikawa, K. Tachihara. 2011. Reproductive biology, growth, and age composition of non-native Indian glassy fish <i>Parambassis ranga</i> (Hamilton, 1822) in Haebaru Reservoir, Okinawa-jima Island, southern Japan. <i>Journal of Applied Ichthyology</i> . 28: 1-7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2008. Reproduction and early development of a freshwater pipefish <i>Microphis leiaspis</i> in Okinawa-jima Island, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 55(4): 349-355	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Taiki Ishihara, Katsunori Tachihara. 2009. The maturity and breeding season of the bellybarred pipefish <i>Hippichthys spicifer</i> , in Okinawa-jima Island rivers. <i>Ichthyological Research</i> . 56(4): 388-393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○	
Takeshi Sasaki, Tohru Naruse. 2014. Acorn-foraging activity and feeding behaviour by two species of freshwater crabs (Brachyura Potamidae) from Okinawa Island, Ryukyu Islands, Japan. <i>Crustacean Research</i> . 43: 31-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	○	
Takuro Shibuno, Yohei Nakamura, Masahiro Horinouchi, Mitsuhiro Sano. 2008. Habitat use patterns of fishes across the mangrove-seagrass-coral reef seascape at Ishigaki Island, southern Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 55: 218-237	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	○	
Tatsuya Kawakami, Katsunori Tachihara. 2010. Occurrence and body size changes of drifting land-locked Ryukyu-ayu <i>Plecoglossus altivelis ryukyensis</i> larvae in the San-numata River, Okinawa-jima Island, Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 57(2): 204-208	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou. 1998. First records of two freshwater pipefishes of the genus <i>Microphis</i> (Synbranchiformes: Synbranchiidae) from Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 45(2): 201-204	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
Tetsuo Yoshino, Hidenori Yoshigou, Hiroshi Senou. 2002. <i>Mesopristes irawi</i> , a new terapotid fish (Perciformes: Terapotidae) from rivers of Iriomote Island, the Ryukyu Islands. <i>Ichthyological Research</i> . 49: 234-239	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Tetsuo Yoshino, Hirokazu Kishimoto. 2008. <i>Plotosus japonicus</i> , a New Eeltail Catfish (Siluriformes: Plotosidae) from Japan. <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, supplement</i> , 2: 1-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	○
Tetsuo YOSHINO. 1976. Five Unrecorded Fishes from Japan, Collected from Sesoko Island, Okinawa. <i>沖縄生物学会誌</i> . (14): 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○	
Tetsuroh ISHIKAWA, Katsunori TACHIHARA. 2008. Age, growth and maturation of the redbelly tilapia <i>Tilapia zillii</i> introduced into the Haebaru Reservoir on Okinawa-jima Island. <i>Fisheries Science</i> . 74(3): 527-532	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Tetsuroh Ishikawa, Katsunori Tachihara. 2010. Life history of the nonnative convict cichlid <i>Amatitlania nigrofasciata</i> in the Haebaru Reservoir on Okinawa-jima Island, Japan. <i>Environmental Biology of Fishes</i> , 88: 283-292	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Tetsuroh Ishikawa, Tamaki Shimose, Katsunori Tachihara. 2013. Life history of an invasive and unexploited population of Nile tilapia (<i>Oreochromis niloticus</i>) and geographical variation across its native and non-native ranges. <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 96: 603-616	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
TIN-YAM CHAN, Fujita Y. 2012. Reef lobsters of the genus <i>Enoplometopus</i> A. Milne-Edwards, 1862 (Crustacea:Decapoda: Nephropidae) from the KUMEJIMA 2009 Expedition in Okinawa, with the second record of the rare species <i>E. chacei</i> Kensley & Child, 1986. <i>Zootaxa</i> . 3367: 126-133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		○
Tihru, Naruse, Jhy-Yun Shy. 2004. A new species of the freshwater crab, previously assigned to <i>Geothelphusa miyazakii</i> . <i>THE RAFFLES BULLETIN OF ZOOLOGY</i> . 52(2): 109-116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	○	
Tohru Naruse, Tadafumi Maenosono, Daisuke Uyeno, Shota Samejima, Naoki Shirakawa. 2017. Records of six leucosoid crab species from the Ryukyu Archipelago, Japan. <i>Fauna Ryukyuanica</i> . 36: 1-11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	○	
Tomoyuki Komai, Masayuki Osawa, Tadafumi Maenosono, Yoshihisa Fujita, Tohru Naruse. 2018. Records of the callinassid ghost shrimp <i>Lepidophthalmus tridentatus</i> (von Martens, 1868) (Crustacea Decapoda Axidea Callinassidae) from the Ryukyu Islands, Japan. <i>Fauna Ryukyuanica</i> . 42: 9-27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	○	○
Tomoyuki Komai, Tadafumi Maenosono, Masayuki Osawa. 2015. Records of three species of callinassid ghost shrimp from the genera <i>Glypturus</i> Stimpson, 1866 and <i>Corallianassa</i> Manning, 1987 (Crustacea Decapoda Axidea) from the Ryukyu Islands, Japan, with remarks on the taxonomic s. <i>Fauna Ryukyuanica</i> . 27: 13-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	○	○
Tomoyuki Komai. 2005. A New Species of Upogebia (Crustacea Decapoda Thalassinidea Upogebiidae) from Okinawa Island, Ryukyu Islands. <i>Species Diversity</i> . 10(4): 259-268	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	○	

表 4-5-1 (5). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
Uehara, M and K. Tachihara. 2015. Reproductive traits of the western Pacific gizzard shad <i>Nematalosa come</i> : implications for conservation and management in a population at its distributional margin. <i>Environmental Biology of Fishes</i> . 98: 1-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
Uehara, M. and K. Tachihara. 2012. Reproductive biology of Japanese gizzard shad (<i>Nematalosa japonica</i>) in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 59: 314-322	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	○	
Uehara, M., F. Kashiwagi, H. Imai and K. Tachihara. 2011. Biological traits of naturally induced hybrid individuals of two gizzard shads, <i>Nematalosa come</i> and <i>N. japonica</i> , in coastal waters around Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. <i>Ichthyological Research</i> . 58: 344-349	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○	
Winston F. Ponder, Hiroshi Fukuda, Anders Hallan. 2014. A review of the family Clenchelliidae (Mollusca:Caenogastropoda:Truncatelloidea). <i>Zootaxa</i> . 3872(2): 101-153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	○	
Worawit Maneepitaksanti, Kazuya Nagasawa. 2012. Monogeneans of Cichlidiogyrus Paperna, 1960 (Dactylogyridae), gill parasites of tilapias, from Okinawa Prefecture, Japan. <i>Biogeography</i> . 14: 111-119	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
Yoshihisa Fujita, Masaru Mizuyama, Yusuke Yamada. 2017. <i>Bresilia rufioculus</i> Komai & Yamada, 2011 (Decapoda Caridea Bresiliidae) from a submarine cave in Shimoji-jima Island, Miyako Island Group, southern Ryukyus, Japan. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 37: 31-33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
YOSHITSA FUJITA, MASAYUKI OSAWA. 2005. Complete larval development of the rare porcellanid crab, <i>Novorostrium decorocrus</i> Osawa, 1998 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Porcellanidae), reared under laboratory conditions. <i>Journal of Natural History</i> . 39(10): 763-778	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
Yoshihisa Fujita, Shigemitsu Shokita, and Masayuki Osawa. 2002. Complete larval development of <i>Petroliastes unilobatus</i> reared under laboratory conditions (Decapoda Anomura Porcellanidae). <i>Journal of Crustacean Biology</i> . 22(3): 567-580	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
Yuichi Kameda, Atsushi Kawakita, Makoto Kato. 2007. Cryptic genetic divergence and associated morphological differentiation in the arboreal land snail <i>Satsuma (Luchuhadra) largillierti</i> (Camaenidae) endemic to the Ryukyu Archipelago, Japan. <i>Molecular Phylogenetics and Evolution</i> . 45: 519-533	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	○	○
Yuichi Kano, Shin Nishida, Jun Nakajima. 2012. Waterfalls drive parallel evolution in a freshwater goby. <i>Ecology and Evolution</i> . 2: 1805-1817	0	0	0	104	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	○	
Yukio Iwatsuki, Masayuki Kume, Tetsuo Yoshino. 2010. A New Species, <i>Acanthopagrus pacificus</i> from the Western Pacific (Pisces, Sparidae). <i>Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology</i> . 36(4): 115-130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	○	
Yuriko Hirano, Masayuki Saigusa. 2008. Description of the male of <i>Upogebia miyakei</i> from Ryukyu Islands, Japan (Decapoda Thalassinidea Upogebidae). <i>Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom</i> . 88(1): 125-131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	○	
Yusuke Fuke, Hideyuki Imai. 2018. First Japanese record of <i>Macrobrachium ustulatum</i> (Crustacea Decapoda Palaemonidae) from Okinawa-jima Island, Japan. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 44: 7-15	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	○	○
Yuuki Endo, Tohru Naruse. 2016. Morphological characteristics and host species of <i>Gonatonotus nasutus</i> Chia & Ng, 2000 (Crustacea Decapoda Brachyura Pilumnidae Eumedoninae) from Japan. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 33: 21-31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
Zainudin Bachok, Prosper L. Mfilinge, Makoto Tsuchiya. 2003. The diet of the mud clam <i>Geloina coaxans</i> (Mollusca, Bivalvia) as indicated by fatty acid markers in a subtropical mangrove forest of Okinawa, Japan. <i>Journal of Experimental Marine Biology and Ecology</i> . 292: 187-197	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Aleliua Taise, 須田彰一郎. 2015. 沖縄島沿岸の底生珪藻の出現記録. <i>沖縄生物学会誌</i> . (53): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	0	0	○	
Atsushi Nanami, Moritaka Nishihira. 2002. The structures and dynamics of fish communities in an Okinawan coral reef: effects of coral-based habitat structures at sites with rocky and sandy sea bottoms. <i>Environmental biology of fishes</i> . 63: 353-372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	○	
Beringer, G. 1976. Additions to the List of Okinawa Birds. <i>Japanese Journal of Ornithology</i> . 25: 116-117	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Brazil, M. and P. Snetsinger. 1991. The Little Gull <i>Larus minutus</i> in Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 20: 80-82	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Brazil, M., H. Ikenaga. 1987. The Amami Woodcock <i>Scolopax mira</i> : its identity and identification. <i>Forktail</i> . 3: 3-16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Cogswell, H. 1948. Summer Observations of Birds of Okinawa, Ryukyu Islands. <i>Condor</i> . 50: 16-25	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Ezaki, Y and Z. Miyara. 1995. Wintering of Oriental White Storks in Yonaguni Island, the Westernmost Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 27: 92-97	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Jeane Rumber INDY, 香村 眞徳, 川越 力, 土屋 誠, 安井 肇. 2006. 沖縄産珪藻 <i>Zonaria diessingiana</i> の季節的消長. <i>水産増殖</i> . 54(1): 101-105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○	
Katsunori TACHIHARA, Kohei NAKAO, Keishi TOKUNAGA, Yuko TSUHAKE, Mikumi TAKADA, Tamaki SHIMOSE. 2003. Ichthyofauna in Mangrove Estuaries of the Okinawa, Miyako, Ishigaki and Iriomote Islands during August from 2000 to 2002. <i>Bulletin of the Society of Sea Water Science, Japan</i> . 57: 481-490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0	○	
Kohno H, Abe N, Mano T. 1986. Chick mortality of the Sooty Tern <i>Sterna fuscata</i> caused by Typhoon-8211 on Nakamokami-shima, South Ryukyu, Japan. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 18: 41-50	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
McCosker John E, Hatooka Kiyotaka, Sasaki Kunio and Moyer Jack T. 1984. Japanese moray eels of the genus <i>Uropterygius</i> . <i>Japanese journal of ichthyology</i> . 31(3): 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○	
McWhirter, D. 1985. Records of Pectoral Sandpiper (<i>Calidris melanotos</i>) for Okinawa Prefecture. <i>Strix</i> . 4: 57-60	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
McWhirter, D. 1985. 沖縄における鳥類の繁殖観察. <i>Japanese Journal of Ornithology</i> . 33: 123-125	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	
Md.Sirajul ISLAM, 諸喜田茂充, 長井隆, Mohamed Salim, 藤田喜久, 成瀬真. 2003. Distribution and abundance of Crustaceans in the Shira River mangrove swamp at Iriomote Island of Okinawa in Japan. <i>琉球大学理学部紀要</i> . 76: 227-244	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	21	0	0	○	
Md.Sirajul ISLAM, 諸喜田茂充, 藤田喜久. 2000. 室内飼育下におけるツタリイシガニの幼生飼育の最適塩分. <i>水産増殖</i> . 48(4): 623-630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○	
Nakamura, Y., & Tsuchiya, M. 2008. Spatial and temporal patterns of seagrass habitat use by fishes at the Ryukyu Islands, Japan. <i>Estuarine, Coastal and Shelf Science</i> . 76(2): 345-356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	○	
Nanjo, K., Kohno, H. & Sano, M. 2008. Food habits of fishes in the mangrove estuary of Urauchi River, Iriomote Island, southern Japan. <i>Fisheries Science</i> . 74: 1024-1033	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	○	
Naomasa Kawashima, Jack T. Moyer. 1982. 琉球列島から得られたオキスズメダイ <i>Pristotis jerdoni</i> と <i>コバノスズメダイ</i> <i>Pomacentrus vaiuli</i> . <i>魚類学雑誌</i> . 29: 260-266	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	○	○
NPO 法人コーラル沖縄. 2009. 中城港湾池瀬地区第 1 区域内サンゴ移植報告について: 1-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	○	
NPO 法人ホテルとサンゴの島から. 2014. 平成25年度キザトサフバヒ生息環境等調査業務報告書: 63p	0	0	0	4	0	0	0	0	0	90	0	0	0	0	0	○	○

表 4-5-1 (6). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	八重山	宮古・久米島
NPO法人ホテルとサンゴの島から. 2015. 平成26年度キクザトサワヘビ生息環境等調査業務報告書: 73p	0	0	0	6	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0			○
Seiki Katsuren, Satoshi Tanaka, Sadao Ikehara. 1977. A brief observation on the breeding site and eggs of a frog, <i>Rana ishikawae</i> (Stejneger) in Okinawa Island. ECOLOGICAL STUDIES OF NATURE CONSERVATION OF THE RYUKYU ISLANDS III: 49-54	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
TETSUJI NAKABO. 1983. REVISION OF THE DRAGONETS (PISCES: CALLIONYMIDAE) FOUND IN THE WATERS OF JAPAN. PUBLICATIONS OF THE SETO MARINE BIOLOGICAL LABORATORY. 27(4-6): 193-259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	○		
Tetsuo Takara, Nagahisa Kuroda. 1969. 琉球における未記録種および稀種. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 5: 547-562	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	○
Wild Bird Society of Japan. 1986. Strix Field Note. Strix. 5: 89-98	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1987. Strix Field Note. Strix. 6: 110-118	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1989. Strix Field Note. Strix. 8: 347-349	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1990. Strix Field Note. Strix. 9: 265-268	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1991. Strix Field Note. Strix. 10: 315-318	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1993. Strix Field Note. Strix. 12: 259-264	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1994. Strix Field Note. Strix. 13: 265-274	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Wild Bird Society of Japan. 1996. 野鳥情報 観察記録 1994.8-1995.7. Strix. 14: 205-211	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
WWF. 2009. 南西諸島生物多様性評価プロジェクト フィールド調査報告書: 1-242	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	43	0	○	○	
Yamashina, Y. and T. Mano. 1981. A New Species of Rail from Okinawa Island. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 13: 147-152	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
Yossi Loya, 酒井一彦. 2008. クサビライシ科サンゴの性状換. 琉球大学21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」平成19年度成果発表会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	○		
Yukio Iwatsuki, Seishi Kimura, Tetsuo Yoshino. 2007. A review of the <i>Gerres subfasciatus</i> complex from the Indo-West Pacific, with three new species (Perciformes: Gerreidae). Ichthyological research. 54: 168-185	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○		
いであ株式会社. 2011. 平成22年度慶良間地域周辺海域海岸分布調査業務報告書: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0			
カラ・カルスト地域学術調査委員会. 2007. カラ・カルスト地域における絶滅危惧種コモリ類の生育実態調査(2007年6月)報告: 42742	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
ダグラス・マックワイター, 池長裕史, 五百沢日丸, 庄山守, 高原健二. 1996. 最近の生息状況と参考記録を含めた沖縄県産鳥類目録. 沖縄県立博物館紀要. 22: 33-152	0	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
チーム美らサンゴ. 2010. 万座周辺のサンゴ観察報告(万座. 平成21年9月): 1-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	○		
ヤマハリゾート株式会社. 1997. (仮称)はいるぶしゴルフ場開発計画に係る環境影響評価書 評価書: 750p	16	75	9	13	0	1807	130	43	0	0	118	23	460	0	183	○		
安座間安史, 高原健二, 島袋徳正. 1989. 特殊鳥類等生息調査及びノグチゲラの営巣木調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅱ中間報告書: 99-122	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
安座間安史, 島袋徳正. 1996. 大国林道(沖縄県ヤンバル地域)における御落落下動物一斉調査-御溝設置状況からみた小動物の落下状況の分析-. 沖縄生物教育研究会誌. (28): 3-12	0	0	24	15	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	○		
安座間安史, 島袋徳正, 高原健二. 1990. 辺野喜々木-照首山周辺のノグチゲラ生息環境調査. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ中間報告書: 110-124	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
安座間安史, 島袋徳正. 1984. ノグチゲラの有能活動について. 沖縄生物学会誌. (22): 79-90	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
安座間安史, 堀川敦司, 金城孝一, 藤崎栄洋子, 桑江万里子, 長嶺弘博, 佐久川さつき, 久高篤. 2017. 沖縄県中城村久瀬海岸で発生した海藻による海水の赤色着色現象. 沖縄県衛生環境研究所報. (51): 73-78	0	36	0	12	0	0	42	3	0	0	0	0	0	0	0	○		
安谷隆昭, 川上勲, 久貝盛樹, 砂川信夫, 下地忠常, 下地秀男, 富田進. 1977. 大神島の自然調査(動物植物生態と地形地質). 平良市の文化財 昭和52年度文化財要覧: 45-73	0	36	0	12	0	0	42	3	0	0	0	0	0	0	0	○		
安田 富太郎, 富永 義昭. 1970. 三宅島および沖縄本島から得られたケンチャクダイ類の二新種. 魚類学雑誌. 17: 141-151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○		
安田雅俊, 関伸一, 自悠哉, 斎藤和彦, 山田文雄, 小高信彦. 2017. 絶滅危惧種オキナワトゲネズミ <i>Tokudaia muenninki</i> の分布の変遷. 哺乳類科学. 57(2): 227-234	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
安藤将吾. 2019. 沖縄本島北東海岸で見られる海草海藻群落の分布状況. 国士館大学地理学報告. (27): 37-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	○		
安部 直哉, 真野 徹. 1980. 日本におけるマミシロアシサシの繁殖. 山階鳥類研究所研究報告. 12: 183-192	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
安部真理子, 萩原早人, 早川英毅, 渡辺俊樹, 日高道雄. 2006. アザミサンゴの多様性に関する研究. 琉球大学21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」平成17年度成果発表会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	○		
安部直哉, 河野裕美, 真野徹. 1986. 沖の神島で繁殖するセグロアシサシの個体数と種(幼鳥)数の推定. 山階鳥類研究. 18(1): 28-40	1	32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊藤西, 藤田喜久, 諸喜田茂充. 2006. Complete larval development of <i>Macrobrachium latimanus</i> (Von Martens, 1868) (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) described from laboratory-reared material. Crustacean Research. 35: 1-26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	○		
伊藤西, 藤田喜久, 諸喜田茂充. 2003. Description of the first zoeae of six <i>Macrobrachium</i> species (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) occurring in Japan. Crustacean Research. 32: 55-72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	○		
伊藤西, 藤田喜久, 諸喜田茂充. 2005. コソノテナガエビ <i>Macrobrachium latimanus</i> (Von Martens, 1868) の卵発生と孵化. CANCER. 14: 5-8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○		
伊藤西, 藤田喜久, 諸喜田茂充. 2003. 沖縄島におけるザラテナガエビ <i>Macrobrachium australe</i> (Guerin Meneville, 1838) の繁殖生態と初期生活史. 琉球大学理学部紀要. 76: 211-225	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	○		
伊藤西義. 1986. 日本におけるクロトキの生息記録. 34: 127-143	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊波善勇. 1990. 恩納村の植物: 382p	0	0	0	0	0	2885	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊波善勇. 全沖縄県立高等学校の校庭の植物目録	0	0	0	0	0	4600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
伊波善勇. 2007. 第3章 都市の中の自然 屋敷林. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 290-300	0	0	0	0	0	1511	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊波善勇. 2007. 第3章 都市の中の自然 校庭の植物. 沖縄市史 第4巻 自然・地理・考古編 自然編: 251-281	0	0	0	0	0	1903	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊波善勇, 伊礼洋規, 池原直樹, 兼城洋邦, 渡嘉敷玲子. 1986. 山内谷の植物. 沖縄市自然調査報告書. 1: 52	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊良部村教育委員会. 1981. 黒浜御飯-牧山一帯調査書 昭和56年度: 1-27	0	0	0	0	0	475	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		
伊澤雅子, 前田善四郎. 1998. 西表島で採集されたアブラコウモリ <i>Pipistrellus abramus</i> の記録. 沖縄島嶼研究. 16: 17-18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○	
井口修, 西平守孝. 1994. 沖縄島から新たに記録されたシモフリシオマネキ <i>Uca triangularis</i> . 沖縄生物学会誌. (32): 39-42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	○		
井上太之, 水谷見, 北野忠, 南條楠子, 河野裕美. 2015. 西表島網取湾のウダラ川における魚類群および甲殻類相. 東海大学沖縄地域研究センター 所報: 19-32	0	0	0	0	77	0	0	0	0	56	122	0	0	34	0	○		
井上太之, 南條楠子, 水谷見, 北野忠, 河野裕美. 2016. 西表島網取湾のウダラ川における魚類群集構造. 魚類学雑誌. 63(2): 63-79	0	0	0	0	279	0	0	0	0	0	403	0	0	0	0	○		
井川様子. 2015. 単体サンゴとホシムシの共生系における生態と生活史. 日本生態学会第62回全国大会講演要旨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	○		
井龍 康文, 松田 伸也. 1994. フォーズリーイシモ (紅藻, サンゴモ科) およびその関連種の分類学的研究. 日本古生物学会報告. 174: 426-448	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	○		
一般財団法人自然環境研究センター. 2018. 平成29年度クワイワトカゲモドキ類の生息状況把握等業務報告書: 116p	0	0	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○		○

表 4-5-1 (8). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数															地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	八重山	宮古・久米島
沖縄県環境保健部自然保護課. 1997. 特殊鳥類等生息環境調査X 伊平屋島・久米島・南大東島・北大東島・湿地編: 1-168	0	672	0	0	35	140	0	114	108	39	9	6	0	18	0			○
沖縄県環境保健部自然保護課. 1996. 特殊鳥類等生息環境調査IX 八重山湿地編: 1-216	0	518	0	0	32	147	114	229	0	56	88	77	0	164	0	○		
沖縄県宮古支庁土木建築課. 2004. 伊良部大橋橋梁整備事業に係る環境影響評価書. 第6章	22	187	28	57	0	4406	169	29	0	3	265	166	134	27	90			○
沖縄県宮古支庁農林水産整備課. 2006. 県営畑地帯総合整備事業西原地区に係る環境影響評価書	0	591	12	34	0	1802	83	24	0	0	0	333	159	65	28			○
沖縄県宮古島市教育委員会. 2011. 国指定名勝「東平安名崎」保存管理計画策定報告書: 119p	0	0	8	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1978. アサヒナキマダラセセリ調査報告. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第13集: 37p	0	0	0	0	0	750	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 2005. アミヤマシギ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第42集: 65p	0	554	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 2008. イボイモリ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第44集: 47p	0	0	186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1996. ウミカメ類生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第36集: 75p	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1998. ウミカメ類生息実態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第38集: 95p	0	0	0	33	0	166	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 2001. ウミカメ類生息実態調査報告書Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第40集: 102p	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1988. オカヤドカリ生息実態調査報告あまん. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第29集: 254p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0			○
沖縄県教育委員会. 2006. オカヤドカリ生息実態調査報告書Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第43集: 262p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1551	0			○
沖縄県教育委員会. 1993. キクザトサウヘビ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第33集: 97p	0	0	13	40	1	0	0	12	3	9	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 2013. キシノウエトカガ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第46集: 208p	0	0	0	399	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1997. クメシマボタル生息実態緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第37集: 61p	0	20	9	1	0	0	0	14	67	0	0	33	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1981. ケナカネズミ実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第22集: 65p	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1977. クラマジカ実態調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第11集: 148p	0	0	0	0	0	2057	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1978. クラマジカ実態調査報告Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第12集: 209p	0	0	0	0	0	877	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1979. クラマジカ実態調査報告Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第17集: 148p	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1996. クラマジカ保護対策緊急実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第35集: 201p	58	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1992. タイウトオコワモリ保護対策緊急調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第31集: 269p	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1976. ノグチケラ実態調査速報(Ⅱ). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第5集: 48p	0	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 2003. リュウキュウヤマカメ・セマルハコガモ生息実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第41集: 99p	0	0	0	121	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1975. 塩川動態調査報告 予報Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第2集: 78p	0	0	0	0	0	1606	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1976. 塩川動態調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第6集: 91p	2	12	0	6	11	0	21	7	0	17	5	2	0	7	0			○
沖縄県教育委員会. 1977. 塩川動態調査報告Ⅲ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第9集: 51p	0	0	0	0	2	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県社寺・御塚林調査報告Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第15集: 120p	0	0	0	0	0	2621	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県社寺・御塚林調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第18集: 210p	0	0	0	0	0	8823	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1981. 沖縄県社寺・御塚林調査報告Ⅳ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第21集: 316p	0	0	0	0	0	2616	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1978. 沖縄県洞穴実態調査報告Ⅰ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第14集: 137p	7	0	14	24	0	1174	0	0	72	0	0	14	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1979. 沖縄県洞穴実態調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第16集: 156p	5	0	7	14	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県教育委員会. 1976. 慶佐次湾のヒルギ林緊急調査報告. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第7集: 60p	0	0	0	0	0	2571	0	0	0	2	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1977. 慶佐次湾のヒルギ林緊急調査報告Ⅱ. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第10集: 88p	0	0	0	0	0	400	0	0	0	8	0	0	0	64	0			○
沖縄県教育委員会. 1975. 指定候補糸満市荒崎の岩礁海岸植物群落. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第4集: 22p	0	0	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
沖縄県教育委員会. 1985. 西表島等天然記念物緊急調査Ⅲ 西表島天然記念物緊急調査報告書Ⅲ 動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第25集: 88p	8	94	40	114	0	0	2	0	127	0	0	0	0	4	0			○
沖縄県教育委員会. 2009. 天然記念物緊急調査報告書(サンゴ礁). 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第45集: 142p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73			○
沖縄県教育委員会. 1975. 与那覇岳周辺のイタシイ林について. 沖縄県天然記念物調査シリーズ. 第3集: 73p	0	0	0	0	0	5944	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県水産海洋研究センター 石垣支所. 八重山海域におけるシロクラベラの分布: http://fra-seika.fra.affrc.go.jp/~dbmng/cgi-bin/search/search_detail.cgi?RESULT_ID=3359&YEAR=2011	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2004. 2級水系河川整備基本方針及び整備計画策定業務(石垣新川川)報告書	0	144	0	0	34	610	0	33	19	22	20	15	0	51	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 1997. 安里川水系河川環境管理基本計画策定業務報告書(基礎資料編): 1-211	0	88	0	0	9	121	0	0	0	0	21	0	0	0	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 1999. 国場川・安里川河川整備計画策定業務(資料編)Ⅲ. 河川環境編: 2扉	0	123	0	0	32	1061	0	12	16	9	41	36	0	138	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 中部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務 報告書【第一編比羅川水系編】: 1-49	0	33	32	6	128	593	0	215	63	75	66	40	2	101	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2015. 田原川環境調査業務委託(H27) 報告書	0	101	0	0	22	96	0	25	14	20	12	37	0	40	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2016. 田原川環境調査業務委託(H28) 報告書	6	80	4	15	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南部地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(安謝川). 第7編	0	69	0	0	7	101	0	3	17	4	11	18	0	28	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2001. 南部地区河川整備基本方針・整備計画策定業務(名蔵川). 第7編	4	126	15	21	11	25	0	12	7	30	19	14	0	30	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(幸地川)IV河川環境編	0	0	0	0	91	171	0	17	9	42	34	40	0	17	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(石川川)IV河川環境編	0	59	0	0	22	198	0	15	4	17	58	23	0	28	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部・中部地区河川整備基本方針(天願川)IV河川環境編	0	0	0	0	53	392	0	47	32	7	23	14	0	17	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(我部泊河川)報告書	0	36	0	0	46	147	0	8	4	7	25	19	0	30	0			○
沖縄県土木建築部河川課. 2002. 北部地区河川整備基本方針及び整備計画策定業務(汀間川)報告書	0	30	0	0	56	142	0	13	9	35	53	28	0	91	0			○

表4-5-1 (10). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																	地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	八重山	宮古・久米島		
下謝名松栄. 1979. 沖縄島および周辺諸島の洞窟動物. 沖縄県洞穴実態調査報告書Ⅱ: 97-153	0	0	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下謝名松栄. 1980. 先島(宮古諸島・八重山諸島)の洞窟動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第19集. 沖縄県洞穴実態調査報告書3: 81-121	18	0	9	9	0	0	0	0	33	0	0	1	0	0	0	0	0			
下瀬環, 立原一憲. 2005. 沖縄島沿岸におけるニセクロホシフエダイ稚魚の出現と形態. 沖縄生物学会誌. (43): 35-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0			
下村通善, 藤田喜久, 成瀬真. 2012. First record of the genus <i>Thetispelecaris</i> Gutu & Iliffe, 1998 (Crustacea: Peracarida: Bochsacea) from a submarine cave in the Pacific Ocean. <i>Zootaxa</i> . 3367: 69-78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
下村通善, 藤田喜久. 2017. First description of the female of <i>Heteromysoides simplex</i> Hanamura & Kase, 2001 (Mysidacea: Mysidae) collected from a submarine cave on Ie-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. <i>PROCEEDINGS OF THE BIOLOGICAL SOCIETY OF WASHINGTON</i> . 130(1): 75-83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
下村通善, 藤田喜久. 2017. <i>Halosbaena okinawaensis</i> , a new species of Thermostoanacea (Crustacea) from submarine cave on Okinawa Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. <i>Zootaxa</i> . 4317(1): 155-164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
加藤信一郎. 1991. 盛夏にオオゴマダラなどの異常集団をみる. 琉球の昆虫. (14): 31-32	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
加藤信一郎. 1987. 八重山諸島で6月に採集したチョウ. 琉球の昆虫. (11): 41-43	0	0	0	0	0	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河内紀浩, 佐々木健志. 2002. 沖縄島北部森林域における移入食肉類(ジャワマングース・ノネコ・ノイヌ)の分布及び食性について. 沖縄生物学会誌. (40): 41-50	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河内紀浩, 渡邊環樹, 前之園唯史. 2017. 宮古諸島下地島と池間島からのオガサワラヤマリの新記録. <i>AKAMATA</i> . (27): 41-43	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 水谷晃, 村越未来, 丹尾岳斗, 小菅文治. 2012. 仲ノ神島海鳥集約繁殖地のオカヤドカリ類. 沖縄生物学会誌. (50): 49-59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0			
河野裕美, 水谷晃. 2009. 琉球列島南部西表島周辺で保護回収された3羽のヒメクロウミバタ <i>Oceanodroma monorhis</i> . 沖縄生物学会誌. (47): 33-39	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 安部直哉, 真野徹. 1986. 仲ノ神島の海鳥類. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 18: 1-27	0	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 水谷晃. 2015. 仲ノ神島および西表島におけるオジロフシの初越冬繁殖と海鳥類への影響. <i>Strix: journal of field ornithology: 野外鳥類学論文集</i> . 31: 125-134	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
河野裕美, 太田英利. 1991. 海鳥繁殖地の爬虫類: 八重山諸島・仲ノ神島の爬虫類生類相. 沖縄島嶼研究. (9): 73-89	0	6	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
花原勇. 2017. 今帰仁村におけるシリケンイモリの繁殖期と水場の利用. 沖縄生物学会誌. (55): 1-10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
花崎勝司. 1994. 沖縄島嶼本島沿岸における魚類相. 沖縄生物学会誌. (32): 17-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238	0	0	0	0	0	0			
花崎勝司. 2005. 沖縄島北部における魚類相: 羽地内海. 沖縄生物学会誌. (43): 75-87	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	193	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1993. 名越湾保護水面管理事業及び治整築場調査結果. 平成3年度沖縄県水産試験場事業報告書: 233-254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1992. 名越湾保護水面管理事業報告. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書: 222-243	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	0	0			
海老沢明彦, 杉山昭博. 1991. 名越湾保護水面調査結果. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0			
外間環誠, 末吉幸満, 仲原秀明. 1973. 本部半島の森林植生. 沖縄県林業試験場研究報告. 16: 72-180	0	0	0	0	0	2035	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
角井敬知, 藤田喜久. 2018. <i>Halmormus shimoiensis</i> , a new genus and species of Pseudozeuxidae (Crustacea: Tanaidacea) from a submarine limestone cave in Northwestern Pacific. <i>PeerJ</i> . 4720: 1-15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
角井敬知, 藤田喜久. 2020. <i>Paradoxapseudes shimoiensis</i> sp. nov. (Crustacea: Tanaidacea: Apeusidae) from a submarine limestone cave in Japan, with notes on its chelipedal morphology and sexual system. <i>MARINE BIOLOGY RESEARCH</i> . 16(3): 195-207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
角田羊平, 青柳克, 徳山孟伸, 才木美香, 笹井隆秀, 戸田守, 前之園唯史. 2016. 宮古島および伊良部島における稀少なヘビ2種, ミヤコヒバアとサキシマバイカダの観察例. <i>Akamata</i> . 26: 25-30	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
角田羊平, 木寺法子. 2010. 沖縄島やんばる地域で目撃されたウシガエルの一併報告. <i>Akamata</i> . 21: 27-28	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社 倉敷環境. 2010. 産業廃棄物処理場再資源化施設の整備事業に係る環境影響評価評価書: 277-427	63	98	41	40	18	230	49	41	39	10	3	2	257	5	0	0	0			
株式会社ニュージェック. 2012. 平成23年度カムリワシ生息状況等調査業務報告書: 99p	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社フレック研究所. 2012. 平成23年度国指定濁湖鳥獣保護区における保全事業検討調査業務報告書: 337p	14	392	0	0	12	0	0	0	18	12	120	132	0	279	0	0	0			
株式会社沖縄環境科学研究所. 2011. 平成22年度平久保半島サガリバナ生息調査業務報告書: 37p	0	0	0	0	0	317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
株式会社水圏科学コンサルタント. 2016. 平成27年度西表石垣国立公園西表島嶼断道モニタリング手法検討業務報告書: 56p	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
乾偉大, 桑原崇, 鈴木賢与, 川瀬成喜, 前湯光弘. 2013. 沖縄県八重山諸島で確認されたチョウ類、陸水性魚類、鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 277-298	0	106	0	0	19	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0			
乾偉大, 桑原崇, 鈴木賢与, 川瀬成喜, 前湯光弘. 2013. 沖縄県八重山諸島で記録されたチョウ類、陸水性魚類、鳥類. 近畿大学農学部紀要. 46: 1-6	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2020. シュゴン目撃情報	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2009. マングース捕獲事業	762	2462	3292	595	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2018. 国指定仲ノ神島鳥獣保護区 仲ノ神島特別保護地区計画書【指定】(環境省案): 1-10	1	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2015. 第6回, 第7回自然環境保全基礎調査(補正調査)	0	0	0	0	0	8799	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 第2-6回自然環境保全基礎調査, 動植物分布調査	103	0	367	719	59	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0			
環境省. 2004. 第6回自然環境保全基礎調査鳥類繁殖分布調査	0	1362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省沖縄奄美地区自然保護事務所. 2005. 平成16年度カムリワシ生息状況等調査報告書(グリーンワーカー事業): 68p	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省沖縄地区自然保護事務所, 株式会社南西環境研究所. 2002. 平成13年度 やんばる地域希少野生動物保全対策事業報告書: 21p	194	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人自然研究センター. 2006. 平成17年度 沖縄県八重山地域における特定外来生物防除業務(オオヒキガエル)調査報告書: 63p	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人自然研究センター. 2008. 平成19年度 沖縄県八重山地域におけるオオヒキガエル等外来生物防除事業報告書: 98p	28	0	169	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所, 財団法人日本生態系協会. 2008. 平成19年度石西礁湖自然再生技術手法検討調査業務報告書: 141p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119	0	0	0	0	45	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2007. 平成18年度石西礁湖サンゴ群集変動調査報告書: 145p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	216	0	26	0	228	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2008. 平成19年度石西礁湖サンゴ群集変動調査報告書: 163p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353	0	84	0	228	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2009. 平成20年度宮古諸島における淡水性甲殻類等の現状把握調査業務報告書: 39p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2011. 平成22年度石西礁湖サンゴ礁保全総合調査業務報告書: 1-281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	921	0	0	0	416	0	0	0			
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所. 2012. 平成23年度西表石垣国立公園川平石崎海城公園地区利用調整検討業務報告書: 49p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	604	0	0	0	0	0	0	0			

表 4-5-1 (12). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域	
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島	
環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査. 動物分布調査報告書[哺乳類]	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境庁. 1988. 第3回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書鳥類	0	1826	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境庁. 1980. 日本の重要な植物群落. (南九州・沖縄版:熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)	0	0	0	0	0	4241	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境庁自然保護局, 国際湿地保全連合日本委員会. 2000. 平成11年度名蔵川河口地域自然環境保全総合調査報告書: 125p	0	236	0	0	40	0	0	10	0	49	85	22	0	60	0	0	0	
環境庁自然保護局, 財団法人海中公園センター. 1998. 平成9年度生態系多様性地域調査(石垣島東部及び平久保半島の沿岸海域)報告書: 174p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	313	10	88	0	159	0	0	
環境庁自然保護局. 1990. 崎山湾自然環境保全地域調査報告書: 225p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	853	0	163	0	27	0	0	
環境庁自然保護局. 1989. 昭和62年度沖縄島北部地域調査報告書 南西諸島における野生生物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究: 1-509	8	2086	126	104	0	0	356	590	290	16	0	14	0	63	0	0	0	
環境庁自然保護局. 1987. 西表島マングローブ林の枯損の原因究明及び保全対策のための検討調査報告書 I: 52p	0	195	0	0	0	184	0	0	0	0	6	18	0	36	0	0	0	
環境庁自然保護局. 1999. 平成10年度生態系多様性地域(崎山湾自然環境保全地域)調査報告書: 140p	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148	0	0	0	0	0	
環境庁自然保護局. 1990. 平成元年度 西表島崎山半島地域調査報告書 南西諸島における野生生物の種の保存に不可欠な諸条件に関する研究: 1-317	39	33	20	21	71	0	37	116	852	87	201	33	0	233	0	0	0	
環境庁自然保護局生物多様性センター. 2001. 海域自然環境保全基礎調査重要沿岸域生物調査報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	0	0	
関伸一. 2004. 多良間島におけるアカヒゲの秋期の渡り. 九州森林研究. 57: 246-247	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関哲夫. 1980. 1979年5月 沖縄採集記. 琉球の昆虫. (4): 65-67	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関哲夫. 1980. 1979年秋 沖縄採集記. 琉球の昆虫. (4): 68-71	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1993. 伊平屋島の哺乳類. 沖縄生物教育研究会誌. (25): 3-6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1993. 伊平屋島の哺乳類. 沖縄生物教育研究会誌. (25): 3-6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1999. 沖縄島羽地における洞窟棲コウモリ種の前腕長・体重と精巣の大きさの季節変化. 沖縄生物学会誌. (37): 15-19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山勝彦. 1992. 沖縄島におけるヒナコウモリ2種の初記録. 沖縄生物学会誌. (30): 55-57	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
丸山哲朗, 藤田喜久. 2018. ウリガエマエジの石垣島からの初記録. Fauna Ryukyuan. 43: 5-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
丸山哲朗, 福家悠介. 2018. オオハマメガエの沖縄島からの初記録. Fauna Ryukyuan. 43: 11-17	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	24	0	0	0	3	0	0	
岸本高男, 比嘉ヨシ子. 1978. 沖縄島の住家性ネズミの種類構成と繁殖. 沖縄生物学会誌. (16): 1-9	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岸野隆, 四宮明彦. 2004. 奄美大島の役勝川と河内川におけるリュウキュウアユの孵化時期と体サイズ. 魚類学雑誌. 51(2): 149-156	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩井善司, 仲本光男. 2001. 名蔵保護水面管理事業. 平成11年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	0	0	0	0	0	0	0	
岩崎幸雄, 瀬能宏, 鈴木寿之. 1989. フェエダイ科魚類ミナモトエダの日本からの記録および稚魚期における近似的種との区別点. 魚類学雑誌. 35(4): 469-478	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
亀崎直樹. 1985. 八重山群島新城島におけるタイムイ <i>Eretmochelys imbricata</i> (Linnaeus) の産卵場の新記録. 沖縄生物学会誌. (23): 41-42	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀崎直樹. 1991. 琉球列島におけるワミガメ類の産卵場の分布とその評価(予報). 沖縄生物学会誌. (29): 29-35	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀谷秋忠, 嶺井直樹, 富永純. 2013. シリケンイモリの発生における水温の影響. 九州両生爬虫類研究会誌. 4: 66-67	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田 勇一. 2007. 与論島-伊平屋島におけるシュリマイマイの記録. ちりぼたん. 37(4): 183-185	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田勇一. 2017. シュリマイマイ類(胎生綱:ナンバマイマイ科)の分布と国内移入状況(特集 沖縄県産魚類の多様性と保全). 軟体動物多様性学会. 5(1): 93-112	0	0	0	0	0	0	0	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田和成, 若月元樹, 亀崎直樹. 2013. 八重山諸島黒島の垣間海域におけるアオウミガメの個体群構造と成長速度. 沖縄生物学会誌. (51): 93-100	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
亀田和成. 2010. 八重山諸島黒島におけるヤエヤマシガメの初記録. Akamata. 21: 23-24	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
儀間英美, 諸田茂充. 1980. 沖縄島と那覇におけるサワガニ類の分布. 沖縄生物学会誌. (18): 9-15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
宜野湾市. 2015. (仮称)西普天間住宅土地区画整理事業計画段階環境配慮書: 1-69	12	24	8	12	0	51	60	30	12	0	0	0	0	1	0	0	0	
宜野湾市教育委員会文化課 市史編集係. 2011. 宜野湾の海. 観察会. 市史だより がちまやあ. (23): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
宜野湾市教育委員会文化課. 2002. ぎのわん自然ガイド. 『宜野湾市史』 第9巻資料編8自然・解説編: 1-215	0	45	12	22	10	75	12	14	12	3	9	26	0	9	0	0	0	
菊地正太郎, 佐野清貴. 2007. 竹富島におけるカムリワシの観察記録. Bird Research. 3: 57-510	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊地正太郎, 桃正得, 外山茂, 松本千枝子, 西海功. 2008. クロアゴヒメオオバト <i>Ptilinopus leclancheri</i> の日本初記録および種 <i>P. taiwanus</i> についての検討. Journal of the Yamashina Institute for Ornithology. 40: 13-22	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊地正太郎, 松本千枝子. 2005. 西表島におけるバングンの観察記録. Strix. 23: 175-179	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊池多賀夫, 田村俊和, 牧田肇, 宮城豊彦. 1978. 西表島仲間川下流の沖積平野にみられる植物群落の配列とこれにかかわる地形 I. マングローブ林. 東北地理. 30(2): 71-81	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
菊池多賀夫, 田村俊和, 牧田肇, 宮城豊彦. 1980. 西表島仲間川下流の沖積平野にみられる植物群落の配列とこれにかかわる地形 II. サガラリナ(ナレ), アダン林. 東北地理. 32(4): 185-193	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範. 2014. 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuan. 9: 1-153	0	0	0	0	69	0	0	0	0	0	126	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 下瀬隆, 岩崎誠. 2007. 沖縄島のクワタイ(タイワンドジョウ科). 比叢科学. 223: 37-38	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 開根正人. 屋我地(沖縄島)で確認されたアカボウズハゼ: 63	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 岩崎誠. 2001. 沖縄島で繁殖が確認された国外侵入種の魚類. 比叢科学. 201: 15-26	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 岩崎誠. 沖縄島で繁殖している <i>Tanichthys albonubes</i> (硬骨魚類; コイ科): 25-26	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 吉野哲夫. 2004. 西表島で採集された日本初記録のヒルガヌメリテンジクダイ(新種). 伊豆海洋公園通信. 15(5): 2-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 吉野哲夫. 1999. 琉球列島で採集された <i>Apogon lateralis</i> (テンジクダイ科)と <i>Acentrogobius caninus</i> (ハゼ科). 伊豆海洋公園通信. 10(9): 4-7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 吉野哲夫. 1999. 西表島で採集された日本初記録のオグロオトメイ(新種) <i>Himantura fai</i> . 魚類学雑誌. 46(1): 39-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 市川真幸, 吉野哲夫. 2004. 沖縄島で採集された日本初記録のハゼ科魚類 <i>ヨミノハゼ</i> (新種). I. O. P. DIVING NEWS. 15(11)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 市川真幸, 中村慎吾. 2005. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (IV). 比和町立自然科学博物館標本資料報告. (5): 1-51	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	567	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 中村慎吾. 2008. 庄原市立比和自然科学博物館魚類収蔵標本総合目録. 庄原市立比和自然科学博物館標本資料報告. 8: 1-112	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	532	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 中村慎吾. 2002. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 II. 比和町立自然科学博物館標本資料報告. (3): 85-136	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	351	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 中村慎吾. 2003. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 III. 比和町立自然科学博物館標本資料報告. (4): 31-75	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	468	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 田村常雄. 琉球島都部市におけるタゴモドキの記録. 比叢科学. 206: 46-47	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 内藤順一, 中村慎吾. 2001. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録. 比和町立自然科学博物館標本資料報告. (2): 119-168	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	445	0	0	0	0	0	0	
吉野英範, 井上朋子, 吉野哲夫. 2008. 日本記録のカワハギ科魚類 <i>コケンハギ Pseudomonacanthus macurus</i> . 魚類学雑誌. 56(1): 59-62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	

表 4-5-1 (14). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	宮古・久米島
宮城康一, 新城和治, 島袋暁, 日越国昭, 宮城朝暉, 真志喜文子, 新島義能, 天願敬男, 新納義馬. 1988. 与那覇岳天然保護区域の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第30集, 国頭郡天然記念物緊急調査Ⅲ: 59-84	0	0	0	0	0	1953	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一, 島袋暁. 1981. 名護市の主な御嶽の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第21集, 沖縄県社寺, 御嶽林調査報告Ⅳ: 11-26	0	0	0	0	0	1303	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一, 島袋暁. 1981. 沖縄県社寺, 御嶽林調査報告Ⅳ: 伊江村の主な御嶽所の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 21: 1-10	0	0	0	0	0	431	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城康一, 日越国昭, 新納義馬, 新城和治, 新島義能, 宮城朝暉, 島袋暁, 天願敬男. 1985. 西表島仲間川天然保護区域の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第24集, 西表島天然記念物緊急調査報告書Ⅱ: 1-20	0	0	0	0	0	6159	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城秋乃, 青柳克. 2011. 2010年沖縄県で見られた迷蝶. 琉球の昆虫. (35): 1-4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城秋乃. 2008. メスアカムラサキの交尾を観察. 琉球の昆虫. (32): 129	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城朝暉. 1979. 那覇市内の主な社寺・御嶽の植生. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第18集, 沖縄県社寺・御嶽林調査報告Ⅱ: 145-168	0	0	0	0	0	1287	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城朝暉, 真志喜文子, 新島義能, 島袋暁, 新城和治, 日越国昭, 宮城康一, 新納義馬. 1988. 大宜味御嶽のピロウ林. 沖縄県天然記念物調査シリーズ, 第30集, 国頭郡天然記念物緊急調査Ⅲ: 96-116	0	0	0	0	0	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城朝暉, 高原建二. 2000. 末吉公園の楠とオオコウモリの同植物について. 沖縄県立博物館紀要. 26: 47-84	0	0	0	0	0	298	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 三井潤治. 1981. 慶留島の陸上脊椎動物相. 沖縄生物学会誌. (19): 53-56	4	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 当山昌彦. 1988. 沖縄県北部と那覇岳及びその周辺地域の哺乳類・爬虫類・両生類調査結果(中間報告). 特殊鳥類等生息環境調査中間報告書: 91-105	5	0	18	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治. 1982. 波照間島の植生観察と動物相. 波照間島調査報告書-地域研究シリーズNo.3. (3): 105-123	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮島仁, 高原建二, 田中謙介. 2015. 沖縄県におけるコンストキPlegadis falcinellusの観察記録. 日本鳥学会誌. 64: 267-270	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮島仁, 山城正邦, 田中謙介. 2012. 沖縄県国頭郡金武町におけるヨーロッパナグロPtilinopus apricariaの日本初記録. 日本鳥学会誌. 61: 310-313	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 奥田重俊, 村上謙秀, 藤原一祐, 大野啓一, 中村幸人, 鈴木伸一. 1983. 宮古島の海岸植生. 横浜国立大学環境科学研究所センター紀要. 10(1): 133-162	0	0	0	0	0	559	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 鈴木邦雄, 藤原一祐, 宮城康一. 1978. 与那国島の植生: 自然資源の保全と観光利用に関する植生学的研究. 観光資源調査報告. 6: 1-61	0	0	0	0	0	1290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治. 1989. 沖縄-小笠原. 日本植生誌. 10: 580p	0	0	0	0	0	15493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 中村幸人, 村上謙秀, 塚越優美子, 鈴木邦雄, 鈴木伸一, 田中謙二. 1983. 西表島沿岸部の植生学的研究. 横浜国立大学環境科学研究所センター紀要. 9(1): 91-137	0	0	0	0	0	1086	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城邦治, 鈴木邦雄, 鈴木伸一, 中村幸人, 村上謙秀, 塚越優美子, 田中謙二. 1983. 日本におけるマングロープの植生学的研究 1. 西表島のマングロープ林. 横浜国立大学環境科学研究所センター紀要. 9(1): 77-89	0	0	0	0	0	356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋本岳真, 西島信昇. 1987. マドモチウミナTerebralia sulcata (Born)の後期発生と成長. 沖縄生物学会誌. (25): 53-56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
玉城俊一. 1972. 八重山の鳥類調査報告(1). 沖縄生物教育研究会誌. (5): 13-17	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉城常雄. 1978. (続)石垣島の秋期における鳥類と渡りの動向. 沖縄生物教育研究会誌. (11): 49-58	0	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉城常雄. 1982. 石垣市街地とハンナ島の鳥相およびその生態. 沖縄生物教育研究会誌. (15): 25-31	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉城常雄. 1977. 石垣島の秋期における鳥類と渡りの動向. 沖縄生物教育研究会誌. (10): 23-37	0	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉城常雄. 1979. 与那国島の鳥類(1). 沖縄生物教育研究会誌. (12): 15-23	0	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城 清昭, 本永 文彦, 木村 基文. 1999. 沖縄島におけるシモフリアゴの産地. 日本水産学会誌. 65: 19-25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0
金城 清昭. 1998. 沖縄島の海草藻場に産するシロクラベラChoeradon schoenleinii 仔稚魚の形態および成長にともなう分布と食性の変化. 日本水産学会誌. 64: 427-434	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
金城幸一, 比嘉栄三郎, 大城洋平. 2006. 沖縄県のサンゴ礁海域における栄養塩環境について. 沖縄県衛生環境研究所報. (40): 107-113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0
金城常雄. 1993. 沖縄本島南部に侵入したシロカシラPycnonotus sinensisの分布域の拡大と生態的特性. 九州病虫研究会報. 39: 119-123	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 亀浜正博, 七条祐哉, 立津茂, 宮平和法, 仲本光男. 1995. 宮古島ミナミクロタイ放流調査. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 七条祐哉. 1995. 宮古島の砂浜におけるミナミクロタイ稚魚の分布. 平成5年度沖縄県水産試験場事業報告書: 183-187	0	0	0	0	1	0	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 中村博幸, 仲本光男. 1998. 名護湾保護水面管理事業. 平成8年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 仲本光男, 渡辺利明. 1997. 名護保護水面管理事業. 平成7年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 仲本光男. 1999. 名護保護水面管理事業. 平成9年度沖縄県水産試験場事業報告書: 218-224	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161	0	0	0	0	0	0	0
金城清昭, 仲本光男. 1996. 名護湾保護水面管理事業. 平成6年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0
金城道男. 1994. 湿地の鳥類. 特殊鳥類等生息環境調査Ⅲ-沖縄本島湿地編-	0	647	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城優子, 金城淑太. 2009. タテハモドキの幼虫を見つけた. 琉球の昆虫. (33): 55	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城和三, 前田昌四雄. 1999. 沖縄島で採集されたヤマコウモリNyctalus aviatorの記録. 沖縄生物学会誌. (37): 61-64	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金本自由生, 渡辺利明. 1981. 石垣島名護湾の海草藻場の生態学的研究I. 海草の分布と生態. ベントス研究会連絡誌. 21-22: 1-14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	0	0	0	0	0
駒井智幸, 前之園唯史, 藤田喜久. 2014. Two new species of ghost shrimp assigned to the genus Cheramus Spence Bate, 1888 (Crustacea: Decapoda: Axidea: Callianassidae) from the Ryukyu Islands, Japan from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa. 3895(4): 503-524	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
駒井智幸, 長井輝, 奥橋明文, 成瀬貴, 藤田喜久, 諸喜田茂充. 2004. 日本から初めて記録されるイフカニ上科(甲殻上綱:十脚目:短尾目)4種の報告および4種に関する分類学的情報の補足. Natural History Research. 8(1): 33-63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
駒井智幸, 藤田喜久, 前之園唯史. 2014. Additional record of Rayllianassa amboinensis (de Man, 1888) from Japan, and description of a new species from Okinawa Island, Ryukyu Islands (Crustacea: Decapoda: Axidea: Callianassidae). Zootaxa. 3835(4): 549-563	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
駒井智幸, 藤田喜久. 2018. A new genus and new species assigned to Macropthalmaeidae (Decapoda: Brachyura: Thoracotremata) from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa. 4531(1): 109-116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
駒井智幸, 藤田喜久. 2018. A new genus and new species of alpheid shrimp from a marine cave in the Ryukyu Islands, Japan, with additional record of Salmonsia atricolor Komai, Yamada & Yunokawa, 2015 (Crustacea: Decapoda: Caridea). Zootaxa. 4369(4): 575-586	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
駒井智幸, 藤田喜久. 2019. A new species of the mud shrimp genus Axianassa Schmitt, 1924 (Decapoda: Gebiidae: Laomedidae) from the Ryukyu Islands, southern Japan. Zootaxa. 4658(3): 452-460	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

表 4-5-1 (24). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数														地域			
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チヨウワ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	八重山	宮古・久米島
前之園唯史. 2018. 沖縄島から採集された日本初記録のミナミヨコナガモトキ(新種) <i>Asthenognathus hexagonum</i> Rathbun, 1909 (十脚目 短尾下目 モクスガ科). <i>Fauna Ryukyuan</i> . 40: 1-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		
前之園唯史. 2018. 沖縄諸島におけるイワガニ2科2種(十脚目 短尾下目)の新産地記録. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 40: 11-17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0		
前之園唯史. 2015. 琉球列島の宮古島および西表島より採集された日本初記録のシロツメアシハラガニモドキ(新種)(甲殻目 十脚目 短尾下目 ベンケイガニ科). <i>Fauna Ryukyuan</i> . 26: 17-22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
前之園唯史. 2016. 沖縄諸島より採集された日本初記録のツブヨコナガオキナガニ(新種)(甲殻目 十脚目 短尾下目: クバカガニ科). <i>沖縄生物学会誌</i> . (54): 39-45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		
前泊豊光. 1973. 知念地区の植生. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . 6: 29-47	0	0	0	0	0	1258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
倉田篤. 1966. 八重山群島西表島の鳥類. <i>Journal of the Yamashina Institute for Ornithology</i> . 4: 358-370	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増永元, 太田英利, 戸田光彦, 中島朋成, 鐘雅哉, 松本千枝子. 2005. 鳩間島におけるオオヒキガエルの侵入と生息状況. <i>爬虫両棲類学会報</i> . 2: 173-179	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増野高司, 佐々木健志, 安川誠一郎. 1998. 沖縄島から採集されたクサガメ <i>Chinemys reevesii</i> (カメ目: バタガールガメ科). <i>沖縄生物学会誌</i> . (36): 33-36	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
村越正康. 1978. ヒメジャコノ発生. <i>沖縄生物学会誌</i> . (16): 29-34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
村山望. 2016. 東村でワミアカトンボを確認. <i>琉球の昆虫</i> . (40): 13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村田尚史. 2017. ニンジャバンケイガニの沖縄島からの初記録. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 37: 11-13	0	0	0	0	4	0	0	0	1	5	0	1	0	2	0	0		
多和田厚博. 1933. 美東植物目録. 美東小学校区域植物調査報告書. 40	0	0	0	0	0	2174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利, 山下晶子. 1985. オナタケヤモリ <i>Gehyra mutilata</i> (Wiegmann) の波照間島からの記録. <i>沖縄生物学会誌</i> . (23): 33-34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利, 藤井亮, 岡本卓, 疋田努. 2004. 八重山諸島波照間島の外来性爬虫類に関する新発見およびこれまでに同島から報告された爬虫類の記録に関するコメント. <i>爬虫両棲類学会報</i> . 2: 128-137	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利. 1981. 波照間島の爬虫両棲類. <i>爬虫両棲類学雑誌</i> . 9(2): 54-60	0	0	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利. 1983. 八重山群島の爬虫両棲類相 - I. <i>沖縄生物学会誌</i> . (21): 13-19	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利, 工藤利洋. 2007. 名護湾周辺における沿岸性水生重要魚類の分布. 平成17年度沖縄県水産試験場事業報告書: 181-193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	541	0	0	0	0	0	0	0
大岡素平, 藤田喜久. 2020. 浜比嘉島の洞窟内河川から記録されたアシナガヌマエビ. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 53: 7-9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大宜味村教育委員会. 1995. 大宜味村の自然: 1-555	0	600	0	0	0	0	0	0	0	669	0	0	39	0	0	0	0	0
大見謙辰男. 2000. 沖縄県赤土汚染定点調査海域における白化後のサンゴ被害状況. みどりいし. (11): 15-18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0
大城勝, 山城篤, 金城直樹, 宮城智浩. 1997. 羽地内海海岸におけるトビハゼ類の生息分布とすみ分け調査. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (29): 23-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0
大城勝, 前田歩, 宮城美加代, 金城美香, 辺土名なおみ, 辺土名清美, 大嶺安子, 我那覇安江, 島袋牧, 稲福さゆり, 稲福美奈子, 崎原一美, 前田喜美子. 1989. 綾波川の魚類調査 I-河口閉塞と河川魚類の減少について-. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (22): 23-31	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0
大城勝, 前田歩, 宮城美加代, 金城美香, 辺土名なおみ, 辺土名清美, 大嶺安子, 我那覇安江, 島袋牧, 山口泉, 稲福美奈子, 新城おかり, 前田喜美子. 1989. 綾波川の魚類調査 II-河口閉塞が魚におよぼす影響について-. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (22): 33-41	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
大城勝. 1990. 生態実習教材としての綾波海岸の貝類調査. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (23): 16-29	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	592	0	0	0	0	0	0
大城勝, 前田歩, 宮城美加代, 金城美香, 辺土名なおみ, 辺土名清美, 大嶺安子, 我那覇安江, 島袋牧, 稲福さゆり, 稲福美奈子, 崎原一美, 前田喜美子. 1989. 綾波川の魚類調査 I-河口閉塞と河川魚類減少について-. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (22): 23-32	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0
大城勝, 前田歩, 宮城美加代, 金城美香, 辺土名なおみ, 辺土名清美, 大嶺安子, 我那覇安江, 島袋牧, 稲福さゆり, 稲福美奈子, 崎原一美, 前田喜美子. 1989. 綾波川の魚類調査 II-河口閉塞が魚におよぼす影響について-. <i>沖縄生物教育研究会誌</i> . (22): 33-42	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0
大城信弘, 西島信昇. 1978. 海におけるヨシノボリ(ハゼ科)種魚の生態. <i>沖縄生物学会誌</i> . (16): 17-22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大城信弘, 大城勝, 西島信昇. 1976. 琉球列島産イソゾン科魚類22種の産卵場所と卵について. <i>沖縄生物学会誌</i> . (14): 67-70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0
大城肇. 1975. 琉球列島の海藻群落学的研究(I)南大東島の海藻群落について. <i>Journal of General Edu. Dep.</i> 3: 1-13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88	0	0	0	0	0
大城肇. 1978. 琉球列島の海藻群落学的研究(II)宮古島の海藻群落について. <i>Journal of General Edu. Dep.</i> 5: 1-12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0
大城肇. 1984. 琉球列島の海藻群落学的研究(III)八重山諸島の海藻群落. <i>Journal of General Edu. Dep.</i> 11: 33-40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0
大西敏一, 真木広道. 2004. 沖縄県与那国島におけるカムリオウチュウ <i>Dicurus hottentottus</i> の日本初記録. <i>日本鳥学会誌</i> . 53: 47-48	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大沢啓子, 栗原建二, 山城正邦, 四方正良, 大沢タ志. 2013. 南国島ニオケルピワオコウモリ <i>Pteropus dasymallus</i> Temminck, 1825(真手目:オコウモリ科)の初記録. <i>Fauna Ryukyuan</i> . 4: 5-7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大谷力. 2004. 沖縄県石垣島におけるヤマカガシの観察記録. <i>日本鳥学会誌</i> . 53: 104-106	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大崎洋行. 1994. サンゴ礁海域内海洋牧場開発推進調査. 平成4年度沖縄県水産試験場事業報告書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0
大東英雄. 1995. 沖縄県豊後諸島阿嘉島周辺の海産目録. みどりいし. (6): 23-28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	542	0	0	0	0	0	0
大東英雄, 有賀祐勝. 1982. 八重山郡島石垣島周辺の海産. <i>漁業</i> . 30(4): 325-331	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102	0	0	0	0	0	0
大嶺百穂, 中玉利澄男, 高嶺英恒. 1984. 国頭村大園林道の道路側溝に落下した土壌動物相(予報). <i>沖縄生物学会誌</i> . (22): 71-78	0	0	7	4	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大嶺百穂. 1980. 沖縄本島中部(中城湾沿岸を中心とする)動物相概観 - 1975年3月調査より -. <i>沖縄大学紀要</i> . 1: 137-181	0	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大嶺百穂. 1995. 基地内の自然環境と生態系 - 嘉手納基地海浜地区の土壌生物 -. <i>沖縄大学紀要</i> . (12): 31-78	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大嶺百穂. 1975. 本部半島 動物相の第一次調査報告 - 主として昆虫及びその他陸産小動物 -. <i>沖大論叢</i> : 81-96	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大嶺徹. 2001. 沖縄島北部古生層石灰岩地の植生と植物相	0	0	0	0	0	1350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大澤正幸, 長井隆, 成瀬賢. 2011. 琉球列島から採集されたカスリバンケイガニ(新種). <i>沖縄生物学会誌</i> . (49): 37-47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
大澤正幸, 藤田喜久. 2005. 沖縄島からのヤエヤマヒメオカガニの報告およびその生息場所について. <i>沖縄生物学会誌</i> . (43): 59-63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
大澤正幸, 奥野淳児, 藤田喜久. 2006. Two new species of Pagurixus (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from submarine caves of the Ryukyu Islands, southwestern Japan. <i>Zootaxa</i> . 1148: 27-45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
大澤正幸, 藤田喜久, 古見久. 2001. 日本初記録のアナモリチュウソシオリエビ(新種). <i>伊豆海洋公園通信</i> . 13(1): 1-8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
大澤正幸, 藤田喜久. 2005. A new species of Lissoporcellana (Crustacea: Decapoda: Anomura: Porcellanidae) from Okinawa, southwestern Japan, and a redescription of <i>T. balli</i> (McLaughlin & Haig, 1996). <i>Zootaxa</i> . 1038: 53-63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

表 4-5-1 (35). 生物分布情報に関する収集文献リスト

文献名	分類群別データ数																地域		
	哺乳類	鳥類	両生類	爬虫類	淡水魚	植物	チョウ類	トンボ類	淡水陸生貝類	淡水甲殻類	海水魚	海水貝類	海藻類	海水甲殻類	サンゴ	沖縄島	八重山	宮古・久米島	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 安波のタイナグムイ植物群落. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 宮島御嶽のリュウキュウチヤノキ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 宮良川のヒルギ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 慶佐次湾のヒルギ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 荒川のカンビシ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 星立のヒルギ, ミモテシダ, ノヤシ群落. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 船浦のニッパヤシ群落. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 船浮のヤエマハマゴウ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 仲間川のヒルギ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 平久保のヤエマハマゴウ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球政府文化財保護委員会. 1960. 米原のノヤシ. 文化財要覧1960年版: 1-91	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球大学. 2006-2008. イリオモテヤマゴ 生息状況等総合調査(第4次)報告書: 178	0	0	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
琉球大学. 2014. 西表・石垣沿岸の水深30~55mより発見された大規模な中深度サンゴ群落. プレス発表資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
琉球大学資料館(風樹館). 2010. 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録 第3号:琉球大学資料館(風樹館)甲殻類標本目録(3). (3): 9-61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	211	0	0	0	368	0	0	0	0	
琉球列島鳥類研究会. 琉球列島鳥類研究会. 琉球列島鳥類研究会. 2004. 平成15年度大東諸島環境情報収集調査報告書: 69p	51	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
角野健太, 南條純士, 福岡雅史, 河野裕美. 2012. 西表島浦内川のマングローブ域に生息するキハワミナナ <i>Terebralia palustris</i> の産卵生態. 沖縄生物学会誌. (50): 17-30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
緑地研究会. 1974. 社寺林の研究. 森林: 222p	0	0	0	0	0	825	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
緑地研究会. 1977. 社寺林の研究6. 森林: 235p	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
緑地研究会. 1977. 社寺林の研究8. 森林: 171p	0	0	0	0	0	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
林 公義, Randal J.E. 1989-1990. 西部太平洋産テンジクダイ科1新種 <i>Apogon selas</i> . 魚類学雑誌. 36: 399-403	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
林 公義. 1980-1981. 石垣島より得られた日本初記録のテンジクダイ科魚類3種. 魚類学雑誌. 27: 261-267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	
林原彰. 1996. 阿嘉島の淡水域に生息する甲殻類と魚類. みどりいし. (7): 28-30	0	0	0	0	7	0	0	0	0	13	0	0	0	4	0	0	0	0	
林野庁. 森林生態系多様性基礎調査	0	0	0	0	0	1862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
瀧井久勝. 1966. 琉球列島のオカガニ類. 沖縄生物学会誌. 3(5): 8-10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木 寿之, 瀬能 宏. 1994. 西部太平洋産ハゼ科魚類の1新種 <i>Hemirhamphys</i> . 魚類学雑誌. 41(3): 281-286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木賢与, 鳥居幸親, 桑原宗, 寺田甲百合, 牛田博, 前瀬光弘, 桜谷保之. 2011. 沖縄県八重山諸島で記録された鳥類. 近畿大学農学部紀要. 44: 151-161	0	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木雅子. 2017. シュゴの生息環境調査と保護活動. けーし風. (96): 26-28	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木寿之, 瀬能宏, 吉野哲夫, 細川正富, 吉野英範. 1995. 西表島で採集された日本初記録のエリトゲハゼ(新種). I. O. P. DIVING NEWS. 6(2): 4-6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木寿之, 瀬能宏, 世古徹. 2011. 沖縄島で採集された日本初記録のサトメハゼ(新種)(スズキ目ハゼ科). 神奈川県立博物館研究報告 自然科学. 40: 61-66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木寿之, 瀬能宏, 矢野雅也, 米沢俊彦, 大迫尚晴. 2009. 琉球列島で採集された日本初記録のハゼ科魚類4種. 大阪市立自然史博物館研究報告. 63: 1-10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木寿之, 大迫尚晴, 瀬能宏. 2008. 日本初記録のハゼ科魚類カブキハゼ(新種). 日本生物地理学会会報. 63: 81-86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木寿之. 2004. 西表島浦内川の魚類とその存続の危機. 理科通信サイエンスネット. 22: 8-11	0	0	0	0	15	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木雅子. 1999. 沖縄島南部地域におけるシロカシラ <i>Pycnonotus sinensis</i> の個体数と餌量の季節変動. 九州病害虫研究会報. 45: 80-83	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
藤田悟寿, 與座(伴本)優子, 末節和菜, 樽田哲郎, 立石剛一. 2005. 琉球列島のモダマ類. 分類. 5(1): 9-19	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
國島大河, 西丸裕敏, 立原一恵. 2014. 沖縄島佐敷干潟におけるスナゴ <i>Pseudogobius javanicus</i> とマサゴ <i>P. masago</i> の生息環境. 魚類学雑誌. 60: 59-68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
澤田勇. 1994. 日本のコウモリ洞総覧. 自然誌研究雑誌. (2, 3, 4): 53-80	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
澤田勇. 2002. 日本産コウモリの寄生線虫総覧. 奈良産業大学『産業と経済』. 17(5): 81-85	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
澤田安喜. 2000. 宜野湾市の植物相. 宜野湾市教育委員会文化課(編), 宜野湾市史第9巻資料編8自然: 255-324	0	0	0	0	0	1839	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
龍島恵介. 2011. 沖縄本島における <i>Ipomoea</i> 属 2種の花に対するメシロの盗食行動. Bird Research. 7: 51-54	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
龍島恵介. 2012. 沖縄本島におけるメシロによるハイビスカス花への盗食被害率の周年変化. Bird Research. 8: 55-59	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
與座盛次. 1980. オトヒメエビの繁殖生態. 沖縄生物学会誌. (18): 39-43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
鶴平名里美, 当山昌道, 安川謙一郎, 藤原隆, 高橋健, 久貝勝盛. 1998. 宮古諸島における陸棲爬虫両生類の分布について. 平良市総合博物館紀要. (5): 23-38	0	0	131	283	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
青藤匠, 平野尚浩, 内田翔太, 山崎大志. 2017. 西表島で確認されたヘゴノメミカイ(真有肺目: オカミカイ科)(特集 沖縄産魚類の多様性と保全). 軟体動物多様性学会. 5(1): 113-115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	
青藤匠, 平野尚浩, 内田翔太, 山崎大志. 2017. 石垣島および西表島におけるヒメヒラマキミズマイ(腹足綱: ヒラマキカイ科)の発見. 軟体動物多様性学会. 5(1): 79-82	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	

(3) 生物文化に関する参考文献等

第2章－2で解析手法を示した生物文化について、情報源を表4－5－2に示す。合計137冊の字誌、市町村誌、専門書について調査を実施した。

表 4-5-2 (1). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年	生物文化記載有無
1	宮古島市	池間島大橋開通記念	川上哲也	1992	○
2		池間島史誌	大井浩太郎	1984	○
3		池間島のミャークツツ	池間島民謡保存会	1981	○
4		池間島の民謡	前泊徳正	1982	
5		伊良部郷土誌	大川恵良	1974	○
6		伊良部島調査報告書 - 地域研究シリーズ No.4 -	沖縄国際大学南島文化研究所	1983	○
7		伊良部島の女乃くらし (農村高齢者生活誌)	与那覇ハル・国吉幸子//編	1983	○
8		伊良部村郷土史	島尻實永	1940	○
9		伊良部村史	川満昭吉	1978	○
10		伊良部村の庶民史※マイクロフィルム複製本 2010	川満昌尹	1963	○
11		いらぶの自然 植物編	いらぶの自然編集委員会//編	1995	○
12		いらぶの自然 動物編	いらぶの自然編集委員会//編	1990	○
13		上野	「上野」編集委員会//編	1982	
14		上野村誌 (村制 40 周年版)	砂川功	1988	○
15		ウブシ 大神島生活誌	「ウブシ 大神島生活誌 編集委員会」編	2017	○
16		浦島物語 - 宮古島時代推理小説 -	上地盛光	1992	
17		うるか字誌	うるか字誌編集委員会	2015	○
18		大嶺(うぶんみ) 分字 35 周年記念誌	記念誌刊行委員会//編	1989	
19		沖縄・久高島のイザイホー (琉球弧叢書 2)	湧上元雄・赤嶺政信・大城学・宮里千里・古橋信孝・かりまたしげひさ・新里幸昭・上原孝三	1993	○
20		沖縄池間島民俗誌	野口武徳	1972	○
21		沖縄芸術の科学 第 24 号 宮古島西原の祭祀用具について	上原 孝三	2012	○
22		沖縄県史研究叢書 18 沖縄の民俗資料(下)	沖縄県教育庁文化財課史料編集班	2018	○
23		沖縄県天然記念物調査シリーズ第 46 集 キシノウエトカゲ生息実態調査報告書	沖縄県教育庁文化財課編	2013	○
24		沖縄・素潜り漁師の社会誌	高橋そよ	2018	○
25		沖縄文化 第 66 号(第 22 巻 2 号)	『沖縄文化』編集所/編	1986	
26		沖縄文化 第 67 号(第 23 巻 1 号)	『沖縄文化』編集所/編	1986	
27		沖縄文化 沖縄文化協会創設四〇周年記念誌	『沖縄文化』編集所/編	1989	
28		沖縄文化 第 110 号(第 45 巻 2 号)	『沖縄文化』編集所/編	2011	
29		沖縄・宮古島狩俣民俗史	狩俣吉正	2011	
30		沖縄民俗 15 周年記念号 22 号 宮古平良市島尻・西原村棚原	平良克巳	1976	○
31		沖縄民俗第 19 号 池間島・島尻部落報告	琉球大学民俗芸能研究クラブ	1972	○
32		沖縄民俗第 12 号 狩俣・熱田部落調査報告	伊礼百合子 (責任)	1966	○
33		沖縄民俗第 18 号 砂川部落・南風原部落報告	奥村幸巳 (責任)	1970	○
34		沖縄民俗薬用動植物誌	前田光康・野瀬弘美	1989	○
35		加治道部落沿革史	城辺町教育委員会//[編]	2002	
36		狩俣民俗史	上地太郎	1980	○
37		郷里・郷友を結ぶ『ういづ』	洲鎌良平	1987	○
38		城辺町史 第 5 巻民話編	城辺町史編纂委員会//編	2005	○
39		ぐすくべの方言語彙 下 西里添・福里・長間・比嘉	城辺町教育委員会//[編]	2004	
40		ぐすくべの方言語彙 上 友利・砂川・下里添・新城・保良	城辺町教育委員会//[編]	2003	

表 4-5-2 (2). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年	生物文化記載有無
41	宮古島市	くばがさ 創刊号・1994	関東下地郷友会事務局/[編]	1994	
42		在沖狩俣郷友会 30 周年記念誌	在沖狩俣郷友会 30 周年記念事業期成会	1999	
43		在沖城辺町郷友会 30 周年記念誌 宮古島「ぐすくべ」	在沖城辺町郷友会/[編]	1984	
44		在沖砂川郷友会結成 25 周年記念誌	25 周年記念誌実行委員会	1992	
45		在沖西辺郷友会結成 30 周年記念誌 躍進・西辺	記念事業期成会・編集委員会	1996	
46		サンバ日和	謝花勝一	1997	○
47		下地町誌 町制 40 周年記念版	下地町役場総務課	1989	○
48		写真集 上野 ぐらしの移り変わり	上野村役場/編	1998	
49		昭和初期よりの保良風俗史	松川寛良	1992	○
50		創立五十周年記念誌 ひさまつ	創立五十周年記念誌編集委員会/編	2012	○
51		第 3 回宮古島の神と森を考える会 報告書	宮古島の神と森を考える会//編	1996	
52		町政 20 周年記念誌 下地町	町政施行 20 周年記念誌編纂委員会	1969	○
53		東北学 vol.3 もうひとつの東北から	赤坂 憲雄/編	2000	○
54		仲地の今昔	山城晶輝//編	1976	○
55		西原創立百周年記念誌	西原創立百周年記念誌編集委員会	1974	○
56		日本の民俗 南島の暮らし	古家信平・小熊誠・萩原左人	2009	
57		比嘉大泉(ウブカー) - 農村高齢者生活誌	宮古農業改良普及所	1984	○
58		東底原郷土史	砂川泰信	1974	○
59		比嘉部落沿革誌 (第 1 巻)	沿革誌編集委員会	1985	
60		光るナナムイの神々 沖縄・宮古島～西原～	比嘉 豊光	2001	○
61		びょうなだつ 在沖保良郷友会 20 周年記念誌	[在沖保良郷友会/編]	1989	
62		平良市史 第 7 巻 (民俗・歌謡)	平良市史編さん委員会/編	1987	○
63		宮古研究 第 10 号	宮古郷土史研究会/編	2010	
64		宮古研究 第 12 号	宮古郷土史研究会/編	2014	
65		宮古島郷土誌	宮古教育委員会	1937	
66		宮古島郷土史考	砂川明芳	1976	
67		宮古島郷土史考 第 5 部	砂川明芳	1989	
68		宮古島郷土史考 第 3 部	砂川明芳	1984	
69		宮古島郷土史考第 7 部	砂川明芳	1993	
70		宮古島郷土史考 第 2 部	砂川明芳	1981	○
71		宮古島郷土史考 第 4 部	砂川明芳	1986	
72	宮古島市史資料 6 ユナンダキズマむかしの暮らし	謝敷正市	2015	○	
73	宮古島市史資料 4 郷土誌	宮古島市教育委員会生涯学習振興課/編	2012		
74	宮古島市史資料 5 宮古方言集 第 1 集	下地盛路	2014		
75	宮古島市史第 2 巻 祭祀編	宮古島市史編さん委員会	2018	○	
76	宮古島市総合博物館紀要 第 21 号	宮古島市総合博物館/編	2017		
77	宮古島庶民史	稲村賢敷	1972	○	
78	宮古島の神と森を考える会 報告書	宮古島の神と森を考える会//編	1996	○	
79	宮古島保良の土俗信仰	松川寛良	1995	○	
80	宮古島与那覇邑誌 - その伝説・民俗及び歴史	上地盛光	1974	○	

表 4-5-2 (3). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年	生物文化記載有無
81	宮古島市	宮古、下地町調査報告書(1) - 地域研究シリーズ No.15-	沖縄国際大学南島文化研究所	1990	
82		宮古、下地町調査報告書(4) - 地域研究シリーズ No.18-	沖縄国際大学南島文化研究所	1992	
83		宮古の神々と聖なる森	平井芽阿里	2012	○
84		みやこの自然 宮古島市史第3巻自然編	宮古島市史編さん委員会	2019	○
85		宮古の自然と文化 第3集 ツバメの方言名とその由来、及び各地におけるツバメ観 - 宮古からの出発 -	渡久山章	2011	○
86		宮古のフォークロア	ニコライ・A・ネフスキー	1998	
87		宮古の民俗文化	下地馨	1975	
88		融和・親睦・団結 在沖西辺郷友会結成50周年記念誌	在沖西辺郷友会結成50周年記念事業期成会	2016	
89	多良間村	沖縄民俗第2号	琉球大学民俗芸能研究クラブ	1960	
90		沖縄民俗第24号 多良間村仲筋、国頭村安田報告	琉球大学民俗芸能研究クラブ	1986	○
91		在沖多良間郷友会50周年記念誌 絆	在沖多良間郷友会結成五十周年記念誌編集委員会/編	2009	
92		在沖多良間郷友会30周年記念誌 大十字路	仲程正吉	1988	
93		在沖多良間郷友会20周年記念誌 ふるさと	在沖多良間郷友会	1977	○
94		村誌たらま島	多良間村誌編纂委員会	1973	○
95		たらま島 - 在沖多良間郷友会十周年記念誌	立津春公	1966	○
96		多良間島調査報告書(1) - 地域研究シリーズ No.19-	沖縄国際大学南島文化研究所	1993	
97		多良間島調査報告書(2) - 地域研究シリーズ No.20-	沖縄国際大学南島文化研究所	1994	
98		多良間島調査報告書(3) - 地域研究シリーズ No.21-	沖縄国際大学南島文化研究所	1995	○
99		多良間島調査報告書(4) - 地域研究シリーズ No.22-	沖縄国際大学南島文化研究所	1995	○
100		多良間島の八月踊り - 多良間村村政施行80周年記念写真集 -	小橋川共男(撮影)	1993	
101		多良間村史第1巻通史編 島のあゆみ	多良間村史編集委員会編	2000	○
102		多良間村史第四巻資料編3(民俗)	多良間村史編集委員会編	1993	○
103		多良間の民俗 宮古諸島学術調査研究報告(地理・民俗編)	中山盛茂	1966	○
104		ふくぎの里 - 多良間村高齢者生活誌 -	芳山清美・与那覇ハル//編	1982	○
105	久米島町	沖縄久米島の総合的研究	法政大学百周年記念久米島調査委員会/編	1984	○
106		沖縄県史 第5巻 各論編4 文化	沖縄県教育委員会	1989	
107		沖縄県史 資料編13 硫黄島	沖縄県文化振興会公文書館管理部史料編集室/編	2002	○
108		沖縄の魔除けとまじない	山里純一	1997	○
109		沖縄の民俗資料 第1集	琉球政府文化財保護委員会	1974	
110		おきなわの民俗探訪 - 島と人と生活と	上江洲均	2018	○
111		沖縄民俗第14号 比屋定・糸数部落調査報告	嶺井敏子(責任)	1967	○
112		沖縄民俗20号記念号 久米島仲里村儀間・東風平村当銘報告	佐久川紀成(責任)	1974	○
113		儀間部落誌	宮平黎福	1971	○
114		[久米島具志川村]具志川部落史	宮里 正光/編	1979	○
115		久米島具志川村史	具志川村史編集委員会/編	1976	○
116		久米島調査報告書(1) - 地域研究シリーズ No.36-	沖縄国際大学南島文化研究所	2009	
117		久米島町の文化財 平成26年度	久米島博物館/編	2015	
118		久米島のくらしと自然	琉球大学附属図書館	2014	
119		久米島の地名と民俗	仲村昌尚	1992	○
120		久米島の民俗文化	上江洲均	2007	○

表 4-5-2 (4). 生物文化に関する収集文献リスト

No	関係市町村	文献名称	著者名	発行年	生物文化記載有無
121	久米島町	久米島の歴史と民俗	仲原善秀	1990	○
122		久米仲里旧記[複製本]	高橋 俊三/[編] 池宮 正治/[編]	[不明]	
123		久米仲里旧記 神名・歌謡索引	高橋 俊三/著 池 宮 正治/著	1973	
124		久米村と琉球王国	久米国鼎会/編	2017	
125		在沖久米島儀間郷友会創立10周年記念誌	平田清・波平憲一郎・佐久川盛昭・与座実・新里信夫	1984	○
126		じまむら	宮城幸吉	1989	○
127		謝名堂誌	謝名堂誌編集委員会/編	2015	○
128		銭田誌	銭田誌編纂委員会	1996	○
129		鳥島移住始末	齋藤用之助	1920	
130		鳥島移住報告書	齋藤用之助	1903	
131		鳥島郷友七嶽会誌 [1集]	鳥島郷友七嶽会誌編集委員会/編	2008	○
132		仲里村誌	仲里村誌編集委員会/編	1975	○
133		西銘誌	久米島西銘誌編集委員会	2003	○
134		比屋定字誌	沖縄本島在住比屋定郷友会	1996	○
135		福木の郷(さと)	山里政一	2007	○
136			みどり 第10号	琉球政府経済局林務課/編	1962
137	複数の市町村に係わるもの	南島の民俗文化	上江洲均	1988	○

(4) 自然環境の利活用に関する参考文献等

第2章－3で解析手法を示した自然環境の利活用における使用データと参考文献を示す。

1. 林秀美, 2010, 改訂版 沖縄県の山, 株式会社山と溪谷社
2. 沖縄県観光企画課, 2010, 平成 21 年度 持続可能な観光地づくり支援事業 (調査研究) 実施報告書
3. 沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>
4. 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー, 2010, 美ら島－沖縄県観光情報ファイル－, 財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

(5) 自然環境及び社会環境に関する参考文献等

第2章－4で解析手法を示した自然環境及び社会環境における使用データと参考文献を示す。

・生物多様性の情報

1. 沖縄県環境利用ガイド, 1992
2. 環境省, 2008, サンゴ礁分布図システム
3. 沖縄県環境部自然保護課, 2010, 平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
4. 沖縄県環境部自然保護課, 2011, 平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
5. 沖縄県環境部自然保護課, 2012, 平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書
6. 富山義則, 2014, 沖縄ビーチ大全 505
7. 沖縄県教育委員会, 2001, ウミガメ類生息実態調査報告書Ⅲ
8. 沖縄県環境部環境保全課, 2017, 平成 28 年度赤土流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書
9. 沖縄県環境部自然保護課, 2018, 平成 29 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書
10. 沖縄県環境部自然保護課, 2019, 平成 30 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書
11. 沖縄県環境部自然保護課, 2020, 平成 31 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書
12. 沖縄県環境部自然保護課, 2021, 令和 2 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

・その他の情報

1. 環境省, 2015, 日本のラムサール条約湿地
2. 国土交通省国土政策局国土情報課, 2007, 国土数値情報 河川データ
3. 国土地理院, 2014, 基盤地図情報 (数値標高モデル) 10m メッシュ DEM
4. 環境省自然環境局生物多様性センター, 1993, 1/50,000 現存植生図
5. 国土交通省国土政策局国土情報課, 2005, 国土数値情報 湖沼データ

(6) 環境カルテに関する参考文献等

第3章で示した環境カルテにおける使用データと参考文献を示す。

なお、番号は、環境カルテの様式（第3章—2）の項目番号と対応している。

・陸域カルテ項目

1-6 市町村名

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

1-7 町丁・字等

総務省統計局,平成27年度国勢調査町丁・字等別境界データ

2-1 地形・地質

2-1-1 地形分類、表層土壌、表層地質

沖縄県企画部土地対策課,1983～1992,土地分類基本調査

2-1-2 特異な地形・地質

沖縄県,1992,沖縄県環境利用ガイド（環境特性地図集）

2-2 植物

2-2-1 現存植生

環境省自然環境局生物多様性センター,2000～2005（一部2006～）,自然環境保全基礎調査（第6回・第7回植生調査）

2-2-2 特定植物群落

環境省自然環境局生物多様性センター,1979、1985～1987、1998～1999,自然環境保全基礎調査（第2～3回・第5回植生調査）

2-2-3 マングローブ林

沖縄県環境部環境再生課,2015,自然環境再生指針（仮称）策定事業委託業務統合報告書（平成24～26年度）

4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成21年度持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）実施報告書

4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>

5-1 法規制等

5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 鳥獣保護区データ

5-2 土地利用

5-2-1 土地利用の現況

沖縄県企画部土地対策課,2000～2017,土地利用現況図

5-2-2 農業振興地域

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

5-2-3 米軍基地

沖縄県環境部環境政策課,2017,米軍基地データ

5-3 河川

5-3-1 河川の分布

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

5-3-2 河床勾配と溪流環境

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

国土交通省国土政策局国土情報課,2006,国土数値情報 湖沼データ

国土地理院,2014,基盤地図情報（数値標高モデル）10m メッシュ DEM

5-3-3 ダム湖、湖沼

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 ダムデータ

・海域カルテ項目

1-4 総務省統計局,平成 27 年度国勢調査町丁・字等別境界データ

2-1 地形・地質・海岸線

2-1-1 海底地質分類

環境省,2008,サンゴ礁分布図システム

2-2 藻場・干潟・サンゴ礁

2-2-1 生サンゴの被度（礁原）

環境省自然環境局生物多様性センター,1990～1993,自然環境保全基礎調査（第4回サンゴ礁調査）

2-2-2 生サンゴの被度（礁縁）

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

2-2-3 藻場、干潟

環境省自然環境局生物多様性センター,1998～2002,自然環境保全基礎調査（第 5 回藻場調査）

環境省自然環境局生物多様性センター,1990～1993,自然環境保全基礎調査（第 4 回干潟調査）

2-2-4 重要なサンゴ礁海域

沖縄県自然保護課,2006,沖縄のサンゴ礁－沖縄県の重要なサンゴ礁海域－

2-4-2 ウミガメ産卵地

富山義則,2014,沖縄ビーチ大全 505

沖縄県教育委員会,2001,沖縄県天然記念物調査シリーズ第 40 集 ウミガメ類生息実態調査報告書Ⅲ－八重山諸島における調査結果－

2-5 SPSS

沖縄県環境部自然保護課,2010,平成 21 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2011,平成 22 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県環境部自然保護課,2012,平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業報告書

沖縄県,2017,平成 28 年度赤土等流出防止海域モニタリング調査委託業務報告書

沖縄県,2018,平成 29 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

沖縄県,2019,平成 30 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

沖縄県,2020,平成 31 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

沖縄県,2021,令和 2 年度生物多様性おきなわブランド発信事業委託業務報告書

4-1 観光拠点

沖縄県観光商工部観光企画課,2010,平成 21 年度持続可能な観光地づくり支援事業（調査研究）実施報告書

財団法人沖縄観光コンベンションビューロー,2010,美ら島－沖縄県観光情報ファイル－

4-2 保全利用協定

沖縄県公式ホームページ, 県知事認定保全利用協定について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>

5-1 法規制等

5-1-1 法規制等

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

国土交通省国土政策局国土情報課,2015,国土数値情報 鳥獣保護区データ

5-1-2 海岸保全区域

沖縄県企画部土地対策課,2019,土地利用規制現況図

5-2 海域利用

沖縄県農林水産部水産課、2018、平成30年9月更新 漁業権区域図（GISデータ）

沖縄県農林水産部水産課、2018、漁業権について（漁業権の説明及び免許の状況）

5-3 河川

国土交通省国土政策局国土情報課,2008,国土数値情報 河川データ

(7) 用語集に関する参考文献等

第4章－4に示した用語集について、参考文献及び参考ウェブサイトを下記に示す。

- [1] “環境用語集” EIC ネット.
<<http://www.eic.or.jp/>>
- [2] “国際保健用語集” 一般社団法人日本国際保健医療学会.
<<https://seesaawiki.jp/w/jaih/>>
- [3] “天文学辞典” 公益社団法人日本天文学会.
<<http://astro-dic.jp/>>
- [4] “沖縄 21 世紀ビジョン” 沖縄県.
<<https://www.pref.okinawa.jp/21vision/index.html>>
- [5] “自然環境の保全に関する指針のあらまし” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/okinawa_kankyo/shizen_hogo/hozen_chiiki/shishin/shishin_aramashi/aramashi_ichizuke.html>
- [6] “改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-菌類編・植物編-” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html>
- [7] 平成 23 年度サンゴ礁資源情報整備事業サンゴ礁資源調査事業「沖縄島周辺離島地域」「宮古地域」「大東地域」「波照間島地域」報告書. 平成 24 年. 沖縄県.
- [8] 鷲谷いづみ、後藤章（2018）. 新版 絵でわかる生態系のしくみ. 講談社.
- [9] “河床勾配” 国土交通省国土技術政策総合研究所.
<<http://www.nilim.go.jp/>>
- [10] “国内に生息・生育する希少種の指定” 環境省.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/domestic/index.html>>
- [11] “外来生物法用語集” 環境省自然環境局.
<<http://www.env.go.jp/nature/intro/1law/yougo.html>>
- [12] “侵略的な外来種” 環境省自然環境局.
<<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html>>
- [13] 久保田康裕、楠本聞太郎、藤沼潤一、塩野貴之（2017）. 生物多様性の保全科学：システム化保全計画の概念と手法の概要. 日本生態学会誌
- [14] “ジオコーディングとは” esri.
<<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geocoding/what-is-geocoding-.htm>>
- [15] “自然の恵みの価値を計る” 環境省自然環境局.
<<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/valuation/service.html>>

- [16] “「生物多様性おきなわ戦略」について” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/bd_okinawa_senryaku.html>
- [17] “「生物多様性条約」” WWF ジャパン.
<<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3516.html>>
- [18] “「生物文化多様性とは」” 第 1 回アジア生物文化多様性国際会議.
<<http://bcd2016.jp/bcd/index.html>>
- [19] “「日射観測」” 気象庁高層気象台.
<https://www.jma-net.go.jp/kousou/obs_third_div/rad/rad_sol.html>
- [20] “沖縄県の天然記念物” 琉球大学博物館風樹館.
<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/db_gallery/natural.php>
- [21] “平成 24 年版情報通信白書” 総務省.
<<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/html/nc121410.html>>
- [22] “県知事認定保全利用協定について” 沖縄県.
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/hozenriyoukyoutei_nintei.html>
- [23] “モニタリングサイト 1000 とは” 環境省生物多様性センター.
<<http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/>>
- [24] “レッドリスト” 環境省.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [25] “魚類の学名と和名” 国立科学博物館.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [26] “Bioclimatic variables” WorldClim – Global Climate Data.
<<http://www.worldclim.org/bioclim>>
- [27] “生物情報収集・提供システム いきものログ” 環境省生物多様性センター.
<<https://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html>>
- [28] “GIS とは…” 国土地理院.
<<http://www.gsi.go.jp/GIS/whatisgis.html>>
- [29] 大見謝辰男 (2003). SPSS 簡易測定法とその解説. 沖縄県衛生環境研究所報
- [30] “2 次メッシュとは” 環境省生物多様性センター.
<<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-042.html>>

生物多様性保全利用指針 OKINAWA

[宮古・久米島編]

[編集・発行] 沖縄県環境部自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL : 098-866-2243